

事 務 連 絡
平成 30 年 8 月 21 日

公益社団法人 日本精神科病院協会 御中

厚生労働省 医 政 局 医療経営支援課
労働基準局 労働条件政策課

病院等の勤務環境に関するアンケート調査について（依頼）

医療従事者の勤務環境改善の推進につきましては、平素よりご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、平成 30 年度厚生労働省委託事業「医療勤務環境改善マネジメントシステムに基づく医療機関の取組に対する支援の充実を図るための調査・研究」の検討委員会においては、医療従事者の勤務環境改善の更なる推進方策を検討する際の基礎資料とするため、別添 1 のとおり全病院及び全有床診療所を対象として標記アンケート調査を実施し、別添 2 のとおり管理者等へアンケート調査への協力依頼を行っているところです。

つきましては、本調査・研究事業の円滑な実施のため、貴管下病院に対し、標記アンケート調査の周知及び回答への協力依頼を行っていただきたく、何卒よろしくお願い申し上げます。

【担当】 医政局医療経営支援課・労働基準局労働条件政策課
医療労働企画官 安里 賀奈子（内線 5352）
医政局医療経営支援課 医療勤務環境改善推進室
室長補佐 西井 章浩（内線 2651）
代表 03-5253-1111 直通 03-3595-2261
FAX 03-3580-9644
e-mail : asato-kanako@mhlw.go.jp（安里）
nishii-akihiro@mhlw.go.jp（西井）

平成30年度 病院等の勤務環境に関するアンケート調査の実施概要

1 目的

厚生労働省委託事業「医療勤務環境改善マネジメントシステムに基づく医療機関の取組に対する支援の充実を図るための調査・研究」において、医療従事者の勤務環境改善の更なる推進方策を検討する際の基礎資料とすることを目的として、昨年度に引き続いて実態把握を継続実施するものである。

なお、本調査は労働基準監督署による監督指導等を目的とするものではない。

2 調査対象

全国の全病院、全有床診療所を対象に、①施設管理者（事務部門担当者等）、②医師（管理職でないフルタイム勤務の正規職員である医師）、③看護職（管理職でない夜勤を行っているフルタイム勤務の正規職員）に対して実施する。

3 調査時期

平成30年8月21日（火）から9月23日（日）までの間

4 調査方法

全所属長あてに回答依頼文及び施設・医師・看護職の回答用IDを送付し、回答者は医療勤務環境改善のポータルサイト「いきいき働く医療機関サポートWeb」を経由して、回答用のホームページから回答する。紙による回答を希望する方には、別途送付する（サイトからプリントアウトも可能）。

なお、病院調査は記名式とする。

5 調査結果の活用

調査結果は委託事業において検討の基礎資料とするとともに、事業報告書の中で主な調査結果を公表し、上記ポータルサイトにも掲載する。また、都道府県ごとの集計結果を各都道府県にも提供する予定。

6 主な調査項目

勤務環境改善の重要領域である「働き方・休み方」に関する項目や勤務環境改善への取組状況に関する項目を中心に、以下の項目について調査を実施する。

(1) 施設（病院・有床診療所）

① 属性

所在地、開設主体、病床数、医療機能、診療科目、職員数等

② 勤務環境改善の取組

現状認識、取組職種、取組の体制・態様、取組項目、効果の高い取組、取組の経営上のメリット、各種認定制度への取組状況等

③ 労務管理【有床診療所のみ】

労働条件通知書等の交付、就業規則の周知、労使協定（36協定）の届出

- ④ 「いきサポ」の認知度・閲覧状況、支援センターの認知度・利用の意向
- ⑤ 労働時間、休日・休暇
週所定労働時間数、労働時間の管理方法、月間時間外労働時間数、時間外労働手当の支払状況、所定休日数等

(2) 医師

- ① 属性
都道府県、開設主体、病床数、年齢、性別、通算経験年数、診療科、仕事に対する考え方等
- ② 労働時間
週所定労働時間数、労働時間の管理方法、月間時間外労働時間数、時間外労働の主な理由、時間外労働の申告状況、時間外労働手当の支払状況等
- ③ 休日・休暇
月間休日日数（所定及び実績）、年次有給休暇（付与日数及び取得日数）
- ④ 当直・夜勤
月間の当直（宿直・日直）・夜勤・オンコールの回数、宿直の拘束時間数及び実労働時間数、宿直明けの勤務状況、最長連続勤務時間数、勤務間隔の最短時間数
- ⑤ 勤務環境改善
勤務環境への満足度、健康状態、健康診断受診状況、勤務環境改善の取組事項及び効果、取り組んでほしい勤務環境改善項目等

(3) 看護職

- ① 属性
都道府県、開設主体、病床数、年齢、性別、通算経験年数等、仕事に対する考え方等
- ② 労働時間
週所定労働時間数、労働時間の管理方法、月間時間外労働時間数、時間外労働の主な理由、時間外労働の申告状況、時間外労働手当の支払状況等
- ③ 休日・休暇
月間休日日数（所定及び実績）、年次有給休暇（付与日数及び取得日数）
- ④ 夜勤
月間の夜勤・オンコールの回数、交代制勤務の状況（シフト、夜勤時間数、休憩・仮眠時間数）、最長連続勤務時間数、勤務間隔の最短時間数
- ⑤ 勤務環境改善
勤務環境への満足度、健康状態、健康診断受診状況、勤務環境改善の取組事項及び効果、取り組んでほしい勤務環境改善項目等

医療機関管理者 殿

厚生労働省委託事業

医療勤務環境改善マネジメントシステムに基づく医療機
関の取組に対する支援の充実を図るための調査・研究
検討委員会委員長 酒井 一博

(公益財団法人大原記念労働科学研究所 所長)

医療機関の勤務環境に関するアンケート調査へのご協力をお願い

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、この度、厚生労働省からの委託により「平成 30 年度医療勤務環境改善マネジメントシステムに
基づく医療機関の取組に対する支援の充実を図るための調査・研究」を実施することとなりました。

当事業の取組みの一環として、医療機関の勤務環境改善の取り組み状況や勤務実態を把握するた
め、全国の病院及び有床診療所並びに勤務する医療従事者を対象にアンケート調査を実施致します。

本アンケート調査は平成 27 年度から実施しており、昨年度の調査結果でもご回答いただいた医療機
関の多くが勤務環境改善の取組を行っており、メリットとして人材の維持・確保や労働環境改善に効果
があると評価していることがわかりました。

このように得られた調査結果は、医療従事者の勤務環境改善に関する施策の方向性を全国レベ
ルで検討する上で非常に重要なものとなります。

つきましては、**平成 30 年 9 月 23 日まで**にアンケート(医師票・看護職票・施設票の 3 種類)にご回答
いただきますようお願い申し上げます。

回答内容につきましては、**労働基準監督署に提供しないため、労働基準監督署が行う監督指導等に
使用されることは一切ありません。**

なお、本アンケート調査に関する回答方法等の説明は別紙「アンケート回答までの流れについて」に
記載しております。回答にあたってはそちらを参照願います。ご不明な点につきましては、お手数ですが、
本調査・研究事業の受託機関である有限責任監査法人トーマツまでお尋ねくださいますようお願い申し
上げます。

最後に、貴医療機関の勤務環境改善の取組が医療の質の向上となりますことを祈念いたします。

敬具

【送付内容】

送付書類(各 1 部)	備考
案内文(本紙)	—
アンケート回答までの流れについて (施設管理者・事務ご担当者様用)	本調査の回答までの流れを記載しております。 回答方法等の詳細はこちらをご参照下さい。
アンケート回答手順(回答者用)	回答者の方に配布頂く資料です。
紙調査票送付依頼状、返信封筒	紙調査票送付依頼時にご使用いただきます。

【問い合わせ先】

有限責任監査法人トーマツ

email: Kansai_HC@tohmatu.co.jp

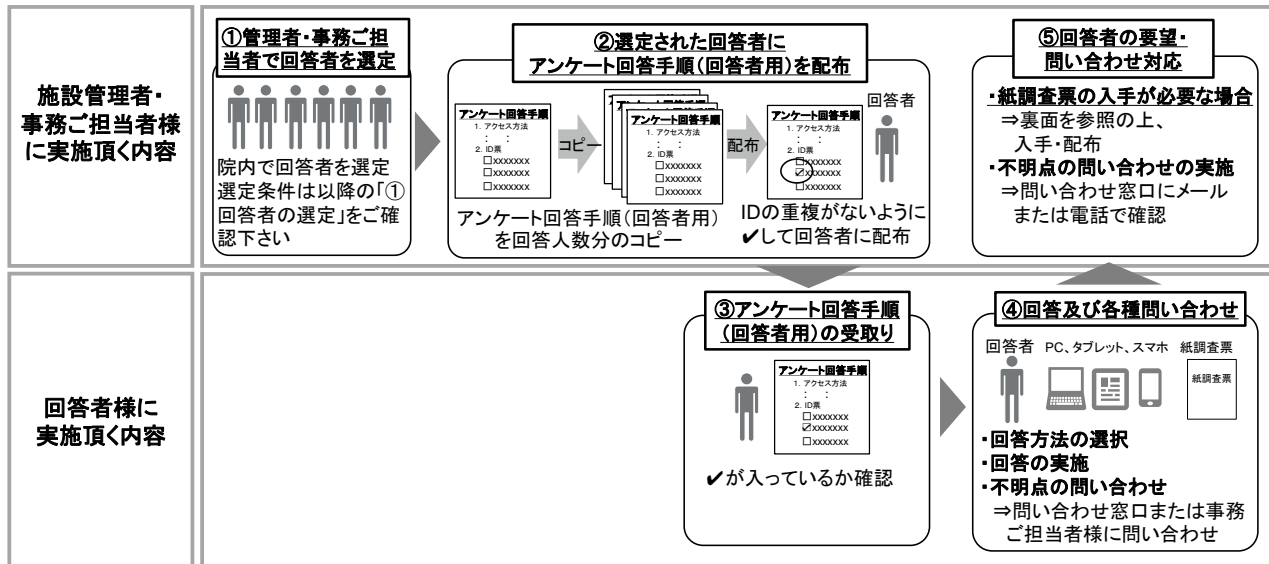
問い合わせ専用ダイヤル: 070-1736-5365(平日 9:30~17:30) 担当: 山本

施設管理者・事務ご担当者様向け

アンケート回答までの流れについて

本アンケート調査では、以下の手順に沿ってアンケートにご回答頂きます。施設管理者様・事務ご担当者様には誠にお手数をおかけ致しますが、回答者の選定、回答に使用する ID の配布並びに回答への周知を実施頂きますようお願い申し上げます。**(回答期限 9 月 23 日)**

1. 案内状受取り～回答までの流れ



① 回答者の選定

本アンケート調査では医師、看護職及び施設管理者の方々に回答頂きます。以下の条件に合う回答者の選定をお願い致します。選定に際しては、年齢層、性別、勤務する診療科・病棟ができるだけ偏らないようお願い致します。

病床規模	医師	看護職	施設管理者
有床診療所	～3名※1	～4名※1	1名
20～299床	3名～6名	4名～8名	
300床～	6名	8名	
選定条件	フルタイム正規職員、当直・夜勤実施(看護職は病棟配属者)、勤務年数2年以上 (病院長・看護部長・その他の管理職及び研修医は除く)		勤務環境改善の取組状況等を把握している方

※1: 該当者が少ない場合は想定回答者数に満たなくても結構ですので、条件に合う方で回答願います。

② 回答者への「アンケート回答手順(回答者用)」の配布

②-1 別紙「アンケート回答手順(回答者用)」を回答人数分のコピーをします。

②-2 回答者が使用する ID に✓を記入してお渡し頂きます。

各回答者に配布する ID は重複がないように✓をご記入頂くようお願い致します。

【裏面につづきます】

③ 回答の実施

回答者は配布された「アンケート回答手順(回答者用)」に記載された方法に従って web 回答画面にアクセスし、各質問に回答して頂きます。回答者から問い合わせがございました際には、事務ご担当者様からまとめて下記連絡先にお問い合わせ頂きますようお願い申し上げます。

2. 回答者からの想定される質問について

Q1. 回答内容は他の人に見られない？

見られることはありません。web 回答時は、回答画面にアクセス後に自身でログインパスワードを設定頂きます。

Q2. 回答内容は変更できる？

回答途中のものは変更可能です。最後まで回答が完了した際には、ご使用頂いている ID では web 回答画面にログインできなくなるため変更はできません。

Q3. 回答方法は？

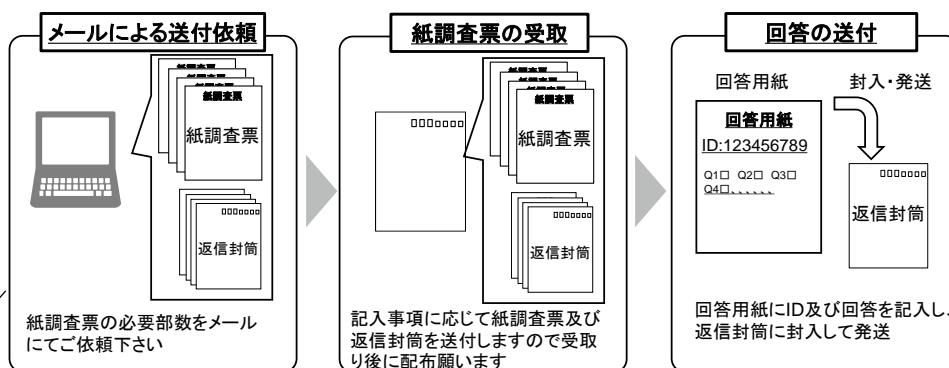
web 回答画面からの回答が簡単で推奨されますが、紙調査票での回答にも対応しております。回答者から紙調査票での回答をご希望された際には、事務ご担当者様で以下の通り対応頂き、回答者にお渡し願います。

紙調査票の入手・回答方法について

回答者が web 以外での回答を希望された場合はお手数ですが以下の 3 通りの方法のいずれかで紙調査票を入手頂き、回答者にお渡し下さい。

下図ではメールでご依頼頂いた際の手順を示しておりますのでご参照下さい。

入手方法	紙調査票	返信封筒
① web回答画面でダウンロード・印刷する場合	web回答画面を参照し、ダウンロード	封筒のダウンロードは対応しておりませんので、②③の方法で別途入手下さい
② メールでの郵送依頼する場合	以下の手順を参照	
③ 郵便にて郵送依頼する場合	別紙紙調査依頼状を参照	



ご依頼時にメールに記載頂く内容

- ① 貴医療機関名、②必要部数(施設票 部、看護職票 部、医師票 部、返信用封筒 部)、
- ③送付先ご住所及び部署名、④連絡先電話番号

3. 本件に関する問い合わせ先

有限責任監査法人トーマツ

email: Kansai_HC@tohmatu.co.jp

問い合わせ専用ダイヤル: 070-1736-5365 (平日 9:30~17:30) 担当: 山本

回答者様向け

アンケート回答手順(回答者用)

本アンケートは、医療従事者の勤務環境の把握を目的としており、全国の病院・有床診療所を対象に実施しております。回答方法としては web 回答を原則としておりますが、紙調査票でも対応頂けます。紙調査票での回答をご希望される際は、貴医療機関事務ご担当者様にご依頼願います。


web 回答での流れは、web 回答画面にアクセス⇒回答画面から ID の入力⇒回答 となります。

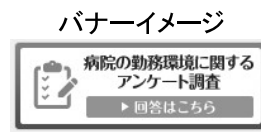
回答期限は 9 月 23 日です。期限までにご回答頂きますようお願い申し上げます。

回答に関して不明点がございましたら、下記問い合わせ先または貴医療機関事務ご担当者様にご確認願います。

1. Web 回答画面へのアクセス方法について

回答は PC、タブレット、スマートフォンから可能であり、web 回答画面へは以下の方法からアクセスして下さい。

回答方法	PC で回答	モバイル機器で回答
アクセス方法	<p>「いきいき働く医療機関サポート Web」からアクセス</p> <p>①「いきサポで検索」 (URL: https://iryou-kinmukankyou.mhlw.go.jp/)</p> <p>②「いきサポ」トップページにある 「病院の勤務環境に関するアンケート調査はこちら」をクリック</p>	<p>QRコードでアクセス</p> 



2. 回答に使用する ID について

回答には ID が必要となるため、マークが記されている ID をご入力して下さい。

医師 ID	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
看護職 ID	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
施設 ID	<input type="checkbox"/>			

3. 回答について

- ・web 回答画面に ID を入力し、回答画面に従って回答を進めて下さい。回答の所要時間としては約 20 分です。
- ・途中で中断された場合は回答が保存され、保存された質問から再開することができます(回答の途中で長時間放置していた場合でも中断はされません)。また、回答が完了した際にはご使用 ID でのログインはできなくなります。
- ・前の質問に戻る際には回答画面中の「戻る」ボタンをご使用下さい。(ブラウザの「戻る」ボタンはご使用できません。)
- ・回答内容は、Web 回答画面へのログイン後に自身でパスワード設定するため、他の方に見られることはありません。

回答前にご準備頂く内容

本アンケート調査では、平成 30 年度 6 月及び平成 29 年度の月平均について以下の内容に関する質問もございます。可能な範囲で予めご準備頂きますようお願い申し上げます。

質問項目例	宿日直・夜勤・オンコールの回数、宿直の平均拘束時間、平均実労働時間数、時間外労働時間、有給休暇取得日数、最長連続勤務時間、勤務終了から次の勤務までの最短時間等
-------	---

※各調査票は web 回答画面からダウンロードが可能です。必要に応じて回答前にご確認下さい。

【問い合わせ先】

有限責任監査法人トーマツ email: Kansai_HC@tohmatu.co.jp

問い合わせ専用ダイヤル: 070-1736-5365(平日 9:30~17:30) 担当: 山本

紙調査票送付依頼状

※紙調査票の送付をメールでご依頼頂いた際には、本用紙を送付頂く必要はございません

紙調査票の送付を希望される方は、以下の内容を記載の上、同封の返信用封筒(切手不要)にて返送をお願いいたします。後日事務局より回答用紙が送付されますので、ご回答をお願いいたします。

医療機関名: _____

郵便番号: 〒 _____

住所: _____

担当部署: _____

連絡先電話番号: _____

施設票枚数: _____ 枚

医師票枚数: _____ 枚

看護職票枚数: _____ 枚

※返信封筒はご依頼頂いた調査票と同数を送付致します。

(参考)

回答者人数は以下の通りです。

病床規模	医師	看護職	施設管理者
有床診療所	～3名	～4名	1名
20～299床	3名～6名	4名～8名	
300床～	6名	8名	

施設票(病院)

紙調査票で回答する場合のお願い

- ① **回答には必ず ID を記載して下さい。** ID は事務ご担当者様より配布される「アンケート回答手順(回答者用)」に記載しております。✓のある ID をご使用下さい。
- ② 回答にあたっては、該当する番号を○で囲むもの、具体的に記入するものがありますので、質問文に従ってご回答下さい。
- ③ 回答は直接調査票にご記入下さい。
- ④ ご記入が終わった調査票は、返信用封筒(切手は不要です)に入れ、**9月23日まで**に郵便ポストに投函して下さい。
※返信用封筒がお手元にはない場合には、本アンケート調査で送付しております「アンケート回答までの流れについて」を参照頂き、入手下さい。

【問い合わせ先】

厚生労働省委託事業

「医療勤務環境改善マネジメントシステムに基づく医療機関の取組に対する支援の
充実を図るための調査・研究」事務局 有限責任監査法人トーマツ

email: Kansai_HC@tohmatu.co.jp

問い合わせ専用ダイヤル:070-1736-5365(平日 9:30~17:30) 担当:山本

回答 ID

問 1. 貴医療機関の所在地を教えてください。(1 つに○)

- | | | | | |
|---------|----------|----------|---------|----------|
| 1. 北海道 | 11. 埼玉県 | 21. 岐阜県 | 31. 鳥取県 | 41. 佐賀県 |
| 2. 青森県 | 12. 千葉県 | 22. 静岡県 | 32. 島根県 | 42. 長崎県 |
| 3. 岩手県 | 13. 東京都 | 23. 愛知県 | 33. 岡山県 | 43. 熊本県 |
| 4. 宮城県 | 14. 神奈川県 | 24. 三重県 | 34. 広島県 | 44. 大分県 |
| 5. 秋田県 | 15. 新潟県 | 25. 滋賀県 | 35. 山口県 | 45. 宮崎県 |
| 6. 山形県 | 16. 富山県 | 26. 京都府 | 36. 徳島県 | 46. 鹿児島県 |
| 7. 福島県 | 17. 石川県 | 27. 大阪府 | 37. 香川県 | 47. 沖縄県 |
| 8. 茨城県 | 18. 福井県 | 28. 兵庫県 | 38. 愛媛県 | |
| 9. 栃木県 | 19. 山梨県 | 29. 奈良県 | 39. 高知県 | |
| 10. 群馬県 | 20. 長野県 | 30. 和歌山県 | 40. 福岡県 | |

問 2. 貴医療機関がある市町村(特別区の場合は区)規模を教えてください。(1 つに○)

1. 人口 50 万人以上の市(区)(政令指定都市等)
2. 人口 20 万人以上 50 万人未満の市(区)(中核都市等)
3. 人口 10 万人以上の 20 万人未満の市(区)
4. 人口 10 万人未満の市(区)
5. 町村

問 3. 貴医療機関の開設主体を教えてください。(1 つに○)

1. 国等(厚生労働省、独立行政法人国立病院機構、国立大学法人、独立行政法人労働者健康安全機構、国立高度専門医療研究センター、独立行政法人地域医療機能推進機構、その他(国の機関))
2. 地方公共団体等(都道府県、市町村、地方独立行政法人)
3. 公的医療機関(日赤、済生会、北海道社会事業協会、厚生連、国民健康保険団体連合会)
4. 社会保険関係団体(健康保険組合及びその連合会、共済組合及びその連合会、国民健康保険組合)
5. 医療法人
6. 個人
7. その他(公益法人、私立学校法人、社会福祉法人、医療生協、会社、その他の法人)

問 4. 貴医療機関の許可病床数を教えてください。(1 つに○)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 9 床以下 | 5. 200～299 床 |
| 2. 10～19 床 | 6. 300～399 床 |
| 3. 20～99 床 | 7. 400～499 床 |
| 4. 100～199 床 | 8. 500 床以上 |

問 5. 貴医療機関の最も多い病床を教えてください。(1 つに○)

1. 一般病床
2. 感染症病床
3. 療養病床
4. 精神病床
5. 結核病床

**問 5-1. 貴医療機関の最も多い病床の利用率と平均在院日数(小数点第 1 位まで)を教えてください。
(数字を記入)**

〈平成 29 年度〉 病床利用率 ()%

平均在院日数 ()日

〈平成 30 年 6 月〉 病床利用率 ()%

平均在院日数 ()日

問 5-2. 貴医療機関における最も多い病床を有する医療機能教えてください。(1 つに○)

1. 高度急性期
2. 急性期
3. 回復期
4. 慢性期

問 6. 貴医療機関が標榜している診療科目を教えてください。(該当するもの全てに○)

- | | | |
|-----------|---------------------|-----------|
| 1. 内科 | 8. 精神科 | 14. 放射線科 |
| 2. 外科 | 9. 泌尿器科 | 15. 麻酔科 |
| 3. 皮膚科 | 10. 整形外科・リハビリテーション科 | 16. 病理診断科 |
| 4. アレルギー科 | 11. 眼科 | 17. 救急科 |
| 5. リウマチ科 | 12. 耳鼻いんこう科 | 18. 歯科 |
| 6. 小児科 | 13. 産科・婦人科・産婦人科 | 19. その他 |

貴医療機関の勤務実態についてお伺いします

※以下の質問におけるフルタイム勤務正規職員には院長は含まれません。

問 7. 平成 30 年 6 月末現在の貴医療機関の職員について伺います。

以下の職員数を教えて下さい(産休・育休・休職など稼働していない職員は除く)(数字を記入)

	①職員数(正規職員・非正規職員を含む)	② ①のうち、フルタイム勤務(※1)の正規職員数	③ ①のうち、短時間勤務(※2)の正規職員
全体	()人	()人	()人
うち、医師数	()人	()人	()人
うち、看護職(※3)数	()人	()人	()人

※1:フルタイム勤務とは、就業規則等で定められた週所定労働時間数(変形労働時間制の場合は、単位期間における週当たりの平均労働時間数)での勤務をいう(育児等による短時間勤務は除く)。

また、正規職員とは、雇用期間の定めがないものをいう(パート労働者等は除く)。

※2:短時間勤務とは、フルタイム勤務と比較して、短い週所定労働時間での勤務をいう。

※3:本調査での看護職とは、保健師、助産師、看護師、准看護師を指し、看護助手は含みません。

問 8. 平成 29 年度の 1 年間に夜勤務(三交代の準夜勤・深夜勤・二交代の夜勤)を行わない期間が 1ヶ月以上あった看護職員数(※4)を教えてください。(数字を記入)

()人

※4:1か月間に少数回でも夜勤を行っている、あるいは当直・オンコールを行っている看護職員は含みません。また、同一の看護職員が平成29年度の複数の期間に分けて、夜間勤務を行わなかった場合は1名として計算して下さい。

問 9. 平成 29 年度の 1 年間における貴医療機関の正規看護職の離職率(小数点第 1 位まで)(※5)を教えてください。(数字を記入)

()%

※5:離職率=平成29年度退職者数÷平成29年度の平均職員数×100

ただし、平均職員数=(年度初めの在籍職員数+年度末の在籍職員数)÷2

問 10. 貴医療機関の就業規則等で定められたフルタイム勤務の医師及び看護職の週所定労働時間数(変形労働時間制の場合は、単位期間における週当たり平均労働時間数)を教えてください。(平成 30 年 6 月時点)(数字を記入)

〈医師〉

週 () 時間 () 分

〈看護職〉

週 () 時間 () 分

夜勤専従看護職がいる場合

〈夜勤専従看護職〉

週 () 時間 () 分

問 11. 労働時間の管理方法を教えてください。(1 つに○)

1. タイムレコーダー・タイムカード
2. IC カード
3. 出勤簿・管理簿
4. その他
5. 労働時間管理をしていない

問 12. 時間外労働の把握の方法について教えてください。(1 つに○)

1. 自己申告により把握している
2. 上司からの命令(事前又は事後)で申告させることにより把握している
3. その他()

問 13. フルタイム勤務正規職員の医師及び看護職の月平均時間外労働時間数を教えてください。(数字を記入)

平成 29 年度月平均 〈医師〉 月 () 時間 () 分

平成 29 年度月平均 〈看護職〉 月 () 時間 () 分

平成 30 年度 6 月 〈医師〉 月 () 時間 () 分

平成 30 年度 6 月 〈看護職〉 月 () 時間 () 分

問14. フルタイム勤務正規職員の時間外労働手当について伺います。時間外労働時間に対し、時間外労働手当を支払っていますか？(該当するもの全てに○)

1. タイムレコーダー・タイムカード・IC カードの通りに支払っている(制限なし)
2. 申告時間通りに支払っている(制限なし)
3. 上限時間が決められている職員に対しては、それを上回る時間については支払っていない
4. 上司が時間外労働を認めたとき以外は支払っていない
5. 年俸制の職員の時間外労働手当は年俸に含めている
6. 時間外労働時間については支払っていない
7. その他()

問 15. フルタイム勤務正規職員の医師及び看護職の平成 30 年 6 月の勤務割(※6)における最長連続勤務時間(当直は含まない)とそのうちの休憩時間を教えて下さい。(数字を記入)

〈医師〉 最長 ()時間()分 (うち休憩 ()時間()分)
 〈看護職〉 最長 ()時間()分 (うち休憩 ()時間()分)

①勤務割上の最長拘束時間の例: 16時間

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	
1日目																									
2日目																									

※6:勤務割:シフト表上や勤務計画表上のこと

問 16. フルタイム勤務正規職員の医師及び看護職の平成 30 年 6 月の勤務割における当日の勤務終了から次の勤務開始までの間隔が最も短い時間を教えて下さい。(数字を記入)

〈医師〉 最短 ()時間()分
 〈看護職〉 最短 ()時間()分

〈看護師例〉最短の例: 8時間

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	
1日目																									
2日目																									

問 17. 平成 29 年度の年間所定休日数(※7)を教えてください。(数字を記入)

()日/年

※7:就業規則に定める職員の所定休日合計(年次有給休暇や慶弔は含めない)

問 18. フルタイム勤務正規職員の医師及び看護職の平成 29 年度の年次有給休暇取得率(小数点第 1 位まで)(※8)を教えてください。(数字を記入)

〈医師〉 ()%
 〈看護職〉 ()%

※8:年次有給休暇取得率(%)=取得日数/各人の付与日数(昨年度からの繰り越し分は含めない)×100

問 19. 貴医療機関では就業規則を職員に周知していますか？(1 つに○)

1. 周知している
2. 特に周知していない
3. 就業規則を作成していない

問 20. 貴医療機関では、正規職員である短時間勤務の医師も当直(宿直・日直)を行っていますか？(1 つに○)

1. 当直(宿直・日直)を行っている
2. 宿直は行っていないが、日直は行っている
3. 日直は行っていないが、宿直は行っている
4. 当直(宿直・日直)は行っていない
5. 正規職員である短時間勤務の医師はいない

問 21. 貴医療機関では、正規職員である短時間勤務の看護職も夜勤を行っていますか？(1 つに○)

1. 行っている
2. 行っていない
3. 正規職員である短時間勤務の看護職はいない

貴医療機関の勤務環境に対する認識についてお伺いします

問 22. 貴医療機関の勤務環境に関して、以下の項目における現状認識として最も近いものを教えて下さい。(各項目で該当するもの1つに○)

項目	重要な課題である	やや重要な課題である	どちらともいえない	あまり重要な課題でない	重要な課題でない
勤務環境全般に関して	1	2	3	4	5
働き方・休み方全般に関して	1	2	3	4	5
労働時間に関して	1	2	3	4	5
休暇の取得に関して	1	2	3	4	5
勤務負担軽減に関して	1	2	3	4	5
職員の健康支援に関して	1	2	3	4	5
働きやすさ全般に関して	1	2	3	4	5
職員のワークライフバランスの確保に関して	1	2	3	4	5
職場の雰囲気に関して	1	2	3	4	5
働き甲斐全般に関して	1	2	3	4	5
職員の能力開発に向けた院内の制度に関して	1	2	3	4	5
仕事の充実感・達成感に関して	1	2	3	4	5

勤務環境改善の取組状況についてお伺いします

問 23. 貴医療機関における、医療従事者の勤務環境改善に関する取組状況について教えて下さい。(1つに○)

1. 職種を問わず取り組んでいる⇒問 24 へ
2. 一部の職種で取り組んでいる⇒問 24 へ
(具体的な職種: _____)
3. あまり取り組んでいない⇒問 26 へ
4. 全く取り組んでいない⇒問 26 へ

問 24. 問 23 で「職種を問わず取り組んでいる」又は「一部の職種で取り組んでいる」と回答した医療機関にお尋ねします。貴医療機関における医療従事者の勤務環境改善の具体的な取組態様について教えてください。(各項目で該当するもの1つに○)

下記の1～7は、「医療分野の『雇用の質』向上のための勤務環境改善マネジメントシステム導入の手引き(改訂版)」(平成27年3月)に記載している、マネジメントシステム導入の7つのステップに対応しています。

また、下記の支援センターは「医療勤務環境改善支援センター」のことであり、医療従事者の勤務環境改善に向けた医療機関の取組を総合的・専門的に支援するための機関で、各都道府県に順次設置されています。

項目	支援センターを活用している	支援センターは活用していない	取り組んでいない
1. 勤務環境改善の取組方針を表明して職員に周知している	1	2	3
2. 経営トップが主体的に関与して組織的に取り組んでいる	1	2	3
3. 勤務環境改善のための推進体制(委員会・プロジェクトチーム、専門部署等)を設置している	1	2	3
4. 勤務環境の現状の把握・分析を行っている	1	2	3
5. 勤務環境改善に向けた達成目標を設定している	1	2	3
6. 勤務環境改善に向けた対策と行動計画(アクションプラン)を策定している	1	2	3
7. 取組の達成状況や成果を確認・評価し、目標や計画の見直し、取組方法の改善等につなげている	1	2	3
8. その他(自由記載へ)	1	2	3

その他の自由記載

問 25. 問 24 の項目 5 で「勤務環境改善に向けた達成目標を設定している」に取り組んでいる医療機関にお伺いします。どのような目標を設定していますか。(該当するもの全てに○)

1. 時間外労働時間の削減について(具体的に:)
2. 業務の負担軽減・効率化について(具体的に:)
3. 休暇取得率の上昇について(具体的に:)
4. 離職率の低下について(具体的に:)
5. 職員満足度の向上について(具体的に:)
6. その他()

問 26. 問 23 で「取り組んでいない」又は「あまり取り組んでいない」と回答した医療機関にお尋ねします。貴医療機関が医療従事者の勤務環境改善にあまり又は全く取り組んでいない理由を教えてください。(該当するもの全てに○)

1. 人員や時間に余裕がないため
2. 費用がかかるため
3. どのように取り組めばよいのかわからないため
4. これから取組を始める段階であるため
5. 現在の勤務環境が整っており、取り組む必要がないため
6. その他()
7. 特に理由はない

問 27. 以下に挙げる医療従事者の勤務環境改善に関する取組のうち、①貴医療機関で取り組んでいるもの、②そのうち効果が高いと評価できる取組を教えてください。(各項目で該当するもの全てにチェック)
(下記の選択肢は、「医療分野の『雇用の質』向上のための勤務環境改善マネジメントシステム導入の手引き(改訂版)」(平成 27 年 3 月)に記載している、医療機関の勤務環境の現状把握及び課題抽出のための確認項目を参考に作成しています。)

I 働き方・休み方改善

(1) 労働時間管理

項目	取り組んでいる	効果が高いと評価できる
1. 時間外労働時間の削減に取り組んでいる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 1回当たりの最長勤務時間の削減に取り組んでいる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 年次有給休暇をはじめとする休暇の取得を促進している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. 夜勤負担の軽減(夜勤明けの早帰りの推進、夜勤者の配置人数の見直し、夜勤回数の制限、仮眠時間の確保等)を行っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. 夜勤専従者への配慮(夜勤の時間・回数の制限等)を行っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6. 夜勤・交代制勤務の勤務間隔を適切に管理している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7. 労働時間設定改善に関する労使間の話し合いの機会を設けている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8. 勤務間インターバル制度(※9)を導入している ⇒取り組んでいる場合は問28へ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※9: 前日の終業時刻と翌日の始業時刻の間に一定時間以上の休息を確保する制度

(2) 勤務負担軽減

項目	取り組んでいる	効果が高いと評価できる
9. 補助職(医師事務作業補助者、看護補助者等)を配置している ⇒取り組んでいる場合は問28へ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10. 正職員について多様な勤務形態(短時間勤務、短日勤務、交代制勤務、フレックスタイム制など)を活用している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11. 当直(宿直・日直)明けの勤務者に対する配慮を行っている(連続当直を行わない、当直明けに日勤を入れない等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12. 夜勤、緊急時対応、オンコール対応等に対する給与・手当等の処遇を充実・改善している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13. チーム医療や多職種連携(業務分担・連携の強化等)により負担軽減を図っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14. 電子カルテを活用した業務効率化・省力化に取り組んでいる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
15. 勤務ソフト作成ソフトを活用した業務効率化・省力化に取り組んでいる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
16. その他の情報通信機器を活用した業務効率化・省力化を推進している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
17. 募集・採用を強化するための取組を実施している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
18. 地域の医療機関との連携(オープンシステム、地域連携クリティカルパス、外来機能の分担等)を推進している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

II 職員の健康支援

項目	取り組んでいる	効果が高いと評価できる
19.職員に健康診断を受診するよう働きかけている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
20.健康診断の事後措置(医療上の措置、就業上の措置、保健指導等)を実施している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
21.職員の健康教育や身体的健康対策(生活習慣病対策等)に取り組んでいる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
22.職員のメンタルヘルス教育研修を実施している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
23.「心の健康づくり計画」を策定し、組織的・計画的にメンタルヘルス対策の取組を行っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
24.長時間労働者に対する面接指導を実施している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
25.職業感染(結核・インフルエンザ等呼吸器感染、HBV/HCV/HIVの針刺し切創対策、ワクチン等)に取り組んでいる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
26.有害化学物質(抗がん剤、エチレンオキド、キシレン、ホルムアルデヒドの取扱い等)のばく露予防に取り組んでいる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
27.作業管理・作業環境対策(腰痛対策や眼精疲労対策等)に取り組んでいる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
28.衛生委員会を設置し、毎月1回以上開催している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
29.産業医を選任し、職員に周知している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
30.衛生管理者(常時使用する職員が10名以上50人未満の場合は衛生推進者)を選任し、職員に周知している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

III 働きやすさ確保のための環境整備

(1) 仕事と子育て・介護等の両立支援

項目	取り組んでいる	効果が高いと評価できる
31.男性職員に育児休業を取得するよう積極的に働きかけている ⇒取り組んでいる場合は問28へ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
32.法定以上の育児休業制度、子の看護休暇制度(男性職員・女性職員ともに対象)を導入している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
33.院内保育所や提携保育所等を整備している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
34.保育サービス(病児保育や夜間預かり保育等)を実施している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
35.院内や近隣に学童保育を整備している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
36.学童期の子どもを有する職員に対する支援制度を設けている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
37.本人の希望に応じて、子育て中の医師の当直を免除している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
38.介護短時間勤務制度を導入している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
39.法定以上の介護休業制度、介護休暇制度(男性職員・女性職員ともに対象)を導入している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
40.法定以上の子育て・介護中の職員に対する夜勤・時間外労働免除(男性職員・女性職員ともに対象)を実施している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
41.子育て・介護等を行っている職員が雇用形態や勤務形態を選択可能な制度(短時間正職員制度、フレックスタイム制度、裁量労働制等。男性職員・女性職員ともに対象)を整備している ⇒取り組んでいる場合は問28へ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(1) 仕事と子育て・介護等の両立支援(前ページの続き)

項目	取り組んでいる	効果が高いと評価できる
42.保育・介護サービス利用料の補助制度(男性職員・女性職員ともに対象)を実施している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
43.子育て・介護その他の事情により退職した職員に対する再雇用の制度を設けている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
44.子育て・介護を含む生活面との両立支援・ワークライフバランスに関する相談窓口の設置や専門スタッフの配置を行っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
45.その他の子育て・介護との両立支援の制度・取組(男性職員・女性職員ともに対象)を実施している ⇒取り組んでいる場合は問28へ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(2) 職員のいじめ・ハラスメント等対策

項目	取り組んでいる	効果が高いと評価できる
46.職員へのいじめ・ハラスメントや患者等からの暴言・暴力・クレームへの対応窓口を設置している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
47.職員へのいじめ・ハラスメント対策や患者等からの暴言・暴力・クレームへの対策に関する研修や、当該研修への職員参加の支援を行っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(3) 風土・環境整備

項目	取り組んでいる	効果が高いと評価できる
48.職員の働く満足度の調査を行っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
49.職員向けに、院内に仮眠室や休憩室等を整備している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
50.院内での職員のコミュニケーションの機会を設定・拡充している(職員旅行、イベント等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
51.職員の地域活動への支援(ボランティア活動支援等)を実施している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(4) 人材の定着化

項目	取り組んでいる	効果が高いと評価できる
52.定期的な面談等により職員が抱える事情や希望を把握し、可能な限りこれらを尊重した配置や業務面の配慮を行い、定着を図っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
53.複数主治医制を採用している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

Ⅳ働き甲斐の向上

(1)キャリア形成支援

項目	取り組んでいる	効果が高いと評価できる
54.施設外の研修への参加を支援している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
55.学会への参加者に対し、勤務を免除する、通常勤務の時間を短くするなどの措置をとっている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
56.正規・非正規を問わずすべての職員のキャリア形成支援(研修等に関する情報提供や研修等への職員参加の支援、子育て等と両立しながらの勤務の継続に関する相談窓口の設置や情報提供等)が実施されている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
57.法人内での人事ローテーションが、キャリア形成支援の視点から適切に実施されている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
58.専門資格の取得を支援する制度を設けている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(2)休業後のキャリア形成支援

項目	取り組んでいる	効果が高いと評価できる
59.産休・育休復帰後のキャリア形成の支援(業務経験や研修等の機会の付与、産休・育休経験者による相談対応等)を行っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
60.復職者が利用できる短時間正職員制度や有期契約職員制度が導入されている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
61.産休・育休中の職員の円滑な復職の支援(e-learning、実技実習、託児所を併設した勉強会等)を行っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

Vその他

項目	取り組んでいる	効果が高いと評価できる
62.患者満足度の調査を行っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
63.子育て等により配慮を受ける職員とその他の職員の公平感に留意した適切な業務分担や処遇となっている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
64.定年退職者の再雇用に積極的に取り組んでいる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
65.医師に対し、医師賠償保険に加入するよう積極的に働きかけている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
66.その他(自由記載へ)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

66.その他の自由記載

問 28. 問 27 の項目 8,9,31,41,45 に取り組んでいる医療機関にお伺いします。

項目 8 の勤務間インターバル制度の導入に「取り組んでいる」と回答された医療機関にお尋ねします。
勤務時間インターバルは何時間ですか。(数字を記入)

()時間

項目 9 の補助職(医師事務作業補助者、看護補助者等)の配置に「取り組んでいる」回答された医療機関にお尋ねします。補助職の配置人数はそれぞれ何人ですか。(数字を記入)

医師事務作業補助者数 ()人

看護補助者数 ()人

項目 31 の男性職員に育児休業を取得するよう積極的な働きかけに「取り組んでいる」と回答された医療機関にお尋ねします。育児休業を取得した男性職員は何人ですか。(数字を記入)

()人

項目 41 の職員が子育て介護等を行っている職員が雇用形態や勤務形態を選択可能な制度を整備しているに「取り組んでいる」と回答された医療機関にお尋ねします。整備している制度は以下のどれに該当しますか。(該当するもの全てに○)

1. 短時間勤務
2. 短日勤務
3. 交代制勤務
4. フレックスタイム制
5. その他

項目 45 のその他の子育て・介護との両立支援に「取り組んでいる」と回答された方にお伺いします。具体的な取り組み内容について記載して下さい。(自由記載)

--

問 29. 問 27 で1つでも「効果が高い」と回答した医療機関にお尋ねします。問 27 で回答した勤務環境改善の取組の効果として、どのような経営上のメリットを感じていますか？(該当するもの全てに○)

1. 離職率が低下した
2. 人材が確保しやすくなった
3. 職員の時間外労働が減少した
4. 職員の満足度が向上した
5. 職員の休暇取得率が増加した
6. インシデントやアクシデントが減少した/医療安全が改善・向上した
7. 患者の満足度が向上した/患者のクレームが減少した
8. 治療結果が向上した/死亡率や再入院率が減少した
9. 患者の受入れ人数が増加した
10. 手術件数が増加した
11. 病床の稼働率が向上した
12. 診療報酬の加算の算定ができるようになった
13. 経営指標が改善した(具体的に記載:)
14. その他()
15. 経営上のメリットは感じていない

問 30. あなたは、「いきサポ(※10)」をご存じですか？(1つに○)

1. 知っており、閲覧したことがある ⇒問 30-1 へ
2. 知っているが、閲覧したことはない ⇒問 30-4 へ
3. この調査票で知った(今まで知らなかった) ⇒問 31 へ

※10:「いきサポ」とは、医療機関の管理者などを対象に、国や都道府県などによる施策や事業などの紹介、医療機関の取組事例の紹介など、医療従事者の勤務環境の改善に役立つ情報を提供するサイト「いきいき働く医療機関サポートWeb」(いきサポ)のことです。

問 30-1. 「いきサポ」をご覧になったご感想をお聞かせ下さい。(1つに○)

1. 非常に参考になる
2. 参考になる
3. あまり参考にならない
4. まったく参考にならない

問 30-2. 「いきサポ」で参考になるページ・情報を教えてください。(該当するもの全てに○)

1. 「検索ワードランキング」
2. 「『参考にされた』取組事例・提案」
3. 「取組事例・提案の紹介」
4. 「資料のダウンロード」
5. 「FAQ ～よくある問合せ～」
6. 「役に立つ情報」の「国の施策情報」
7. 「役に立つ情報」の「各種通知・審議会等」
8. 「役に立つ情報」の「関係団体による取組」
9. 「役に立つ情報」の「イベント開催案内および開催報告について」
10. 「役に立つ情報」の「各都道府県における取組」
11. 「役に立つ情報」の「各都道府県の医療勤務環境改善支援センター」
12. その他()

問 30-3. 「いきサポ」で充実してほしい情報があれば教えてください。(自由記載)

--

問 30-4. あなたは、「いきサポ」を何からお知りになりましたか？(該当するもの全てに○)

1. 都道府県庁又は医療勤務環境改善支援センターの紹介
2. 都道府県労働局からの紹介
3. 厚生労働省のホームページを見て
4. 医療関係の新聞・雑誌、ウェブサイト、メールマガジンなどを見て
5. 同僚・知人などからの口コミ
6. その他()

問 31. 「いきサポ」では、医療機関の勤務環境改善の取組を掲載して、勤務環境改善に取り組んでいることを広報することができます。貴院の取組で勤務環境改善の効果が高いものを「いきサポ」でご紹介してもよろしいでしょうか？(1つに○)

1. 紹介してもよい
2. 紹介することを検討したい
3. 紹介したくない

「紹介しても良い」又は「紹介することを検討したい」と回答された医療機関に対しては、本事業受託者(有限責任監査法人トーマツ)担当者より、「いきサポ」へのご出稿についてご連絡させていただく場合がございます。

下記に、貴医療機関名をご記入下さい。なお、いただいた情報については、「いきサポ」への出稿依頼以外には使用いたしません。

医療機関名: _____

問 32. あなたは、「医療勤務環境改善支援センター(※11)」について、ご存じですか？(1つに○)

1. すでに利用したことがある
2. 利用したことはないが、活動内容を知っている
3. 利用したことはなく、活動内容も知らないが、名前は聞いたことがある
4. 知らない

※11:「医療勤務環境改善支援センター」は、平成 26 年に改正された医療法の規定に基づき、医療従事者の勤務環境改善に向けた医療機関の取組を総合的・専門的に支援するための機関で、各都道府県に順次設置されています。

問 33. 今後の「医療勤務環境改善支援センター」の利用についての意向を教えてください。(1つに○)

1. 利用したい
2. 利用することを検討したい
3. 今のところ利用は考えていない

問 34. 問 33 について、そう考える理由を教えてください。(自由記載)

問 35. 貴医療機関では、女性活躍や子育てサポート等に関する認定や表彰を受けたり、宣言を行ったりしていますか。もしくは認定・表彰・宣言等に向けて取り組んでいますか？（該当する項目を1つに○）

	認定・表彰・宣言等を受け、取り組んでいる	認定・表彰・宣言等に向けて取り組んでいる	認定・表彰・宣言等に向けて取り組んでいない
①くるみん認定(※12)	1	2	3
②えるぼし認定(※13)	1	2	3
③イクボス宣言(※14)	1	2	3

※12:「くるみん」とは、行動計画を策定した企業のうち、計画に定めた目標を達成し、一定の基準を満たした企業を、「子育てサポート企業」として、厚生労働大臣が認定する制度。くるみん認定企業のうち、より高い水準の取組を行った企業が一定の要件を満たした場合、優良な「子育てサポート企業」として特例認定（プラチナくるみん認定）を受けることができる。

※13:「えるぼし」とは、行動計画の策定・届出を行った企業のうち、女性の活躍推進に関する取組の実施状況等が優良な企業を厚生労働大臣が認定する制度。

※14:「イクボス」とは、職場で共に働く部下・スタッフのワークライフバランス（仕事と生活の両立）を考え、その人のキャリアと人生を応援しながら、組織の業績も結果を出しつつ、自らも仕事と私生活を楽しむことができる上司（経営者・管理職）のことを指す。

【認定マーク】

くるみん		えるぼし		
 2017年認定 くるみん 女性が活躍しています 子育てサポートしています	 プラチナくるみん 女性が活躍しています 子育てサポートしています	 女性が活躍しています！	 女性が活躍しています！	 女性が活躍しています！
〈くるみん〉	〈プラチナくるみん〉	〈1段階目〉	〈2段階目〉	〈3段階目〉

問 36. 問 35 以外で、そのほかに、国や自治体等の公的機関からワークライフバランスに関する認定や表彰を受けたことがあれば、いつごろ、どのような認定や表彰を受けたかを教えて下さい。

（自由記載）

問 37. 医療従事者の勤務環境改善の更なる推進方策等の検討に資するため、本アンケートの医療機関ごとの回答内容を医療勤務環境改善支援センターへ提供する予定となっておりますが、提供不可の場合は右の口にチェックをつけて下さい。なお、回答内容については労働基準監督署が行う監督指導等に使用されることは一切ありません。

以上でアンケートは終了です。
ご協力ありがとうございました。

施設票(有床診療所)

紙調査票で回答する場合のお願い

- ① **回答には必ず ID を記載して下さい。** ID は事務ご担当者様より配布される「アンケート回答手順(回答者用)」に記載しております。✓のある ID をご使用下さい。
- ② 回答にあたっては、該当する番号を○で囲むもの、具体的に記入するものがありますので、質問文に従ってご回答下さい。
- ③ 回答は直接調査票にご記入下さい。
- ④ ご記入が終わった調査票は、返信用封筒(切手は不要です)に入れ、**9月23日まで**に郵便ポストに投函して下さい。
※返信用封筒がお手元にはない場合には、本アンケート調査で送付しております「アンケート回答までの流れについて」を参照頂き、入手下さい。

【問い合わせ先】

厚生労働省委託事業

「医療勤務環境改善マネジメントシステムに基づく医療機関の取組に対する支援の
充実を図るための調査・研究」事務局 有限責任監査法人トーマツ

email: Kansai_HC@tohmatu.co.jp

問い合わせ専用ダイヤル:070-1736-5365(平日 9:30~17:30) 担当:山本

回答 ID

問 1. 貴医療機関の所在地を教えてください。(1 つに○)

- | | | | | |
|---------|----------|----------|---------|----------|
| 1. 北海道 | 11. 埼玉県 | 21. 岐阜県 | 31. 鳥取県 | 41. 佐賀県 |
| 2. 青森県 | 12. 千葉県 | 22. 静岡県 | 32. 島根県 | 42. 長崎県 |
| 3. 岩手県 | 13. 東京都 | 23. 愛知県 | 33. 岡山県 | 43. 熊本県 |
| 4. 宮城県 | 14. 神奈川県 | 24. 三重県 | 34. 広島県 | 44. 大分県 |
| 5. 秋田県 | 15. 新潟県 | 25. 滋賀県 | 35. 山口県 | 45. 宮崎県 |
| 6. 山形県 | 16. 富山県 | 26. 京都府 | 36. 徳島県 | 46. 鹿児島県 |
| 7. 福島県 | 17. 石川県 | 27. 大阪府 | 37. 香川県 | 47. 沖縄県 |
| 8. 茨城県 | 18. 福井県 | 28. 兵庫県 | 38. 愛媛県 | |
| 9. 栃木県 | 19. 山梨県 | 29. 奈良県 | 39. 高知県 | |
| 10. 群馬県 | 20. 長野県 | 30. 和歌山県 | 40. 福岡県 | |

問 2. 貴医療機関がある市町村(特別区の場合は区)規模を教えてください。(1 つに○)

1. 人口 50 万人以上の市(区)(政令指定都市等)
2. 人口 20 万人以上 50 万人未満の市(区)(中核都市等)
3. 人口 10 万人以上の 20 万人未満の市(区)
4. 人口 10 万人未満の市(区)
5. 町村

問 3. 貴医療機関の開設主体を教えてください。(1 つに○)

1. 国等(厚生労働省、独立行政法人国立病院機構、国立大学法人、独立行政法人労働者健康安全機構、国立高度専門医療研究センター、独立行政法人地域医療機能推進機構、その他(国の機関))
2. 地方公共団体等(都道府県、市町村、地方独立行政法人)
3. 公的医療機関(日赤、済生会、北海道社会事業協会、厚生連、国民健康保険団体連合会)
4. 社会保険関係団体(健康保険組合及びその連合会、共済組合及びその連合会、国民健康保険組合)
5. 医療法人
6. 個人
7. その他(公益法人、私立学校法人、社会福祉法人、医療生協、会社、その他の法人)

問 4. 貴医療機関の許可病床数を教えてください。(1 つに○)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 9 床以下 | 5. 200~299 床 |
| 2. 10~19 床 | 6. 300~399 床 |
| 3. 20~99 床 | 7. 400~499 床 |
| 4. 100~199 床 | 8. 500 床以上 |

問 5. 貴医療機関の最も多い病床を教えてください。(1 つに○)

1. 一般病床
2. 感染症病床
3. 療養病床
4. 精神病床
5. 結核病床

**問 5-1. 貴医療機関の最も多い病床の利用率と平均在院日数(小数点第 1 位まで)を教えてください。
(数字を記入)**

〈平成 29 年度〉 病床利用率 ()%

平均在院日数 ()日

〈平成 30 年 6 月〉 病床利用率 ()%

平均在院日数 ()日

問 5-2. 貴医療機関における最も多い病床を有する医療機能教えてください。(1 つに○)

1. 高度急性期
2. 急性期
3. 回復期
4. 慢性期

問 6. 貴医療機関が標榜している診療科目を教えてください。(該当するもの全てに○)

- | | | |
|-----------|---------------------|-----------|
| 1. 内科 | 8. 精神科 | 14. 放射線科 |
| 2. 外科 | 9. 泌尿器科 | 15. 麻酔科 |
| 3. 皮膚科 | 10. 整形外科・リハビリテーション科 | 16. 病理診断科 |
| 4. アレルギー科 | 11. 眼科 | 17. 救急科 |
| 5. リウマチ科 | 12. 耳鼻いんこう科 | 18. 歯科 |
| 6. 小児科 | 13. 産科・婦人科・産婦人科 | 19. その他 |

貴医療機関の勤務実態についてお伺いします

※以下の質問におけるフルタイム勤務正規職員には院長は含まれません。該当者が院長のみの場合には医師の回答欄は空白のままです。

問 7. 平成 30 年 6 月末現在の貴医療機関の職員について伺います。

以下の職員数を教えて下さい(産休・育休・休職など稼働していない職員は除く)(数字を記入)

	①職員数(正規職員・非正規職員を含む)	② ①のうち、フルタイム勤務(※1)の正規職員数	③ ①のうち、短時間勤務(※2)の正規職員
全体	()人	()人	()人
うち、医師数	()人	()人	()人
うち、看護職(※3)数	()人	()人	()人

※1:フルタイム勤務とは、就業規則等で定められた週所定労働時間数(変形労働時間制の場合は、単位期間における週当たりの平均労働時間数)での勤務をいう(育児等による短時間勤務は除く)。

また、正規職員とは、雇用期間の定めがないものをいう(パート労働者等は除く)。

※2:短時間勤務とは、フルタイム勤務と比較して、短い週所定労働時間での勤務をいう。

※3:本調査での看護職とは、保健師、助産師、看護師、准看護師を指し、看護助手は含みません。

問 8. 平成 29 年度 の 1 年間に夜勤務(三交代の準夜勤・深夜勤・二交代の夜勤)を行わない期間が 1ヶ月以上あった看護職員数(※4)を教えてください。(数字を記入)

()人

※4:1か月間に少数回でも夜勤を行っている、あるいは当直・オンコールを行っている看護職員は含みません。また、同一の看護職員が平成29年度の複数の期間に分けて、夜間勤務を行わなかった場合は1名として計算して下さい。

問 9. 平成 29 年度の1年間に貴医療機関の正規看護職の離職率(小数点第 1 位まで)(※5)を教えてください。(数字を記入)

()%

※5:離職率=平成29年度退職者数÷平成29年度の平均職員数×100

ただし、平均職員数=(年度初めの在籍職員数+年度末の在籍職員数)÷2

問 10. 貴医療機関の就業規則等で定められたフルタイム勤務の医師及び看護職の週所定労働時間数(変形労働時間制の場合は、単位期間における週当たり平均労働時間数)を教えてください。(平成 30 年 6 月時点)(数字を記入)

〈医師〉

週 () 時間 () 分

〈看護職〉

週 () 時間 () 分

夜勤専従看護職がいる場合

〈夜勤専従看護職〉

週 () 時間 () 分

問 11. 労働時間の管理方法を教えてください。(1 つに○)

1. タイムレコーダー・タイムカード
2. IC カード
3. 出勤簿・管理簿
4. その他
5. 労働時間管理をしていない

問 12. 時間外労働の把握の方法について教えてください。(1 つに○)

1. 自己申告により把握している
2. 上司からの命令(事前又は事後)で申告させることにより把握している
3. その他()

問 13. フルタイム勤務正規職員の医師及び看護職の月平均時間外労働時間数を教えてください。(数字を記入)

平成 29 年度月平均 〈医師〉 月 () 時間 () 分

平成 29 年度月平均 〈看護職〉 月 () 時間 () 分

平成 30 年度 6 月 〈医師〉 月 () 時間 () 分

平成 30 年度 6 月 〈看護職〉 月 () 時間 () 分

問14. フルタイム勤務正規職員の時間外労働手当について伺います。時間外労働時間に対し、時間外労働手当を支払っていますか？(該当するもの全てに○)

1. タイムレコーダー・タイムカード・IC カードの通りに支払っている(制限なし)
2. 申告時間通りに支払っている(制限なし)
3. 上限時間が決められている職員に対しては、それを上回る時間については支払っていない
4. 上司が時間外労働を認めたとき以外は支払っていない
5. 年俸制の職員の時間外労働手当は年俸に含めている
6. 時間外労働時間については支払っていない
7. その他()

問 15. フルタイム勤務正規職員の医師及び看護職の平成 30 年 6 月の勤務割(※6)における最長連続勤務時間(当直は含まない)とそのうちの休憩時間を教えて下さい。(数字を記入)

〈医師〉 最長 ()時間()分 (うち休憩 ()時間()分)
 〈看護職〉 最長 ()時間()分 (うち休憩 ()時間()分)

①勤務割上の最長拘束時間の例: 16時間

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	
1日目																									
2日目																									

※6:勤務割:シフト表上や勤務計画表上のこと

問 16. フルタイム勤務正規職員の医師及び看護職の平成 30 年 6 月の勤務割における当日の勤務終了から次の勤務開始までの間隔が最も短い時間を教えて下さい。(数字を記入)

〈医師〉 最短 ()時間()分
 〈看護職〉 最短 ()時間()分

〈看護師例〉最短の例: 8時間

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	
1日目																									
2日目																									

問 17. 平成 29 年度の年間所定休日数(※7)を教えてください。(数字を記入)

()日/年

※7:就業規則に定める職員の所定休日合計(年次有給休暇や慶弔は含めない)

問 18. フルタイム勤務正規職員の医師及び看護職の平成 29 年度の年次有給休暇取得率(小数点第 1 位まで)(※8)を教えてください。(数字を記入)

〈医師〉 ()%
 〈看護職〉 ()%

※8:年次有給休暇取得率(%)=取得日数/各人の付与日数(昨年度からの繰り越し分は含めない)×100

問 19. 貴医療機関では雇用契約書又は労働条件通知書を職員に渡していますか？(1 つに○)

1. 渡している
2. 渡していない

問 20. 貴医療機関では就業規則を職員に周知していますか？(1 つに○)

1. 周知している
2. 特に周知していない
3. 就業規則を作成していない

問 21. 時間外・休日労働に関する労使協定(36 協定)(※9)の締結について伺います。労働基準監督署に対し、どのような届け出を行っていますか？(1 つに○)

1. 特別条項なしの 36 協定を届け出ている(※10)
2. 特別条項を定めた 36 協定を届け出ている(※10)
3. 36 協定を締結していない

※9 時間外・休日労働に関する協定で、労働基準法第 36 条に定めがあることから一般に 36(サブロク)協定といわれる

※10 特別条項とは、「労働基準法第三十六条第一項の協定で定める労働時間の延長の限度等に関する基準

(平成 10 年労働省告示第 154 号)」第 3 条ただし書きに基づく限度時間を超える時間外労働の定めをいう。

問 22. 貴医療機関では、正規職員である短時間勤務の医師も当直(宿直・日直)を行っていますか？(1 つに○)

1. 当直(宿直・日直)を行っている
2. 宿直は行っていないが、日直は行っている
3. 日直は行っていないが、宿直は行っている
4. 当直(宿直・日直)は行っていない
5. 正規職員である短時間勤務の医師はいない

問 23. 貴医療機関では、正規職員である短時間勤務の看護職も夜勤を行っていますか？(1 つに○)

1. 行っている
2. 行っていない
3. 正規職員である短時間勤務の看護職はいない

貴医療機関の勤務環境に対する認識についてお伺いします

問 24. 貴医療機関の勤務環境に関して、以下の項目における現状認識として最も近いものを教えて下さい。(各項目で該当するもの1つに○)

項目	重要な課題である	やや重要な課題である	どちらともいえない	あまり重要な課題でない	重要な課題でない
勤務環境全般に関して	1	2	3	4	5
働き方・休み方全般に関して	1	2	3	4	5
労働時間に関して	1	2	3	4	5
休暇の取得に関して	1	2	3	4	5
勤務負担軽減に関して	1	2	3	4	5
職員の健康支援に関して	1	2	3	4	5
働きやすさ全般に関して	1	2	3	4	5
職員のワークライフバランスの確保に関して	1	2	3	4	5
職場の雰囲気に関して	1	2	3	4	5
働き甲斐全般に関して	1	2	3	4	5
職員の能力開発に向けた院内の制度に関して	1	2	3	4	5
仕事の充実感・達成感に関して	1	2	3	4	5

勤務環境改善の取組状況についてお伺いします

問 25. 貴医療機関における、医療従事者の勤務環境改善に関する取組状況について教えて下さい。(1つに○)

1. 職種を問わず取り組んでいる⇒問 26 へ
2. 一部の職種で取り組んでいる⇒問 26 へ
(具体的な職種: _____)
3. あまり取り組んでいない⇒問 28 へ
4. 全く取り組んでいない⇒問 28 へ

問 26. 問 25 で「職種を問わず取り組んでいる」又は「一部の職種で取り組んでいる」と回答した医療機関にお尋ねします。貴医療機関における医療従事者の勤務環境改善の具体的な取組態様について教えてください。(各項目で該当するもの1つに○)

下記の1～7は、「医療分野の『雇用の質』向上のための勤務環境改善マネジメントシステム導入の手引き(改訂版)」(平成27年3月)に記載している、マネジメントシステム導入の7つのステップに対応しています。

また、下記の支援センターは「医療勤務環境改善支援センター」のことであり、医療従事者の勤務環境改善に向けた医療機関の取組を総合的・専門的に支援するための機関で、各都道府県に順次設置されています。

項目	支援センターを活用 している	支援センターは活用 していない	取り組んでいない
1. 勤務環境改善の取組方針を表明して職員に周知している	1	2	3
2. 経営トップが主体的に関与して組織的に取り組んでいる	1	2	3
3. 勤務環境改善のための推進体制(委員会・プロジェクトチーム、専門部署等)を設置している	1	2	3
4. 勤務環境の現状の把握・分析を行っている	1	2	3
5. 勤務環境改善に向けた達成目標を設定している	1	2	3
6. 勤務環境改善に向けた対策と行動計画(アクションプラン)を策定している	1	2	3
7. 取組の達成状況や成果を確認・評価し、目標や計画の見直し、取組方法の改善等につなげている	1	2	3
8. その他(自由記載へ)	1	2	3

その他の自由記載

問 27. 問 26 の項目 5 で「勤務環境改善に向けた達成目標を設定している」に取り組んでいる医療機関にお伺いします。どのような目標を設定していますか。(該当するもの全てに○)

1. 時間外労働時間の削減について(具体的に:)
2. 業務の負担軽減・効率化について(具体的に:)
3. 休暇取得率の上昇について(具体的に:)
4. 離職率の低下について(具体的に:)
5. 職員満足度の向上について(具体的に:)
6. その他()

問 28. 問 25 で「取り組んでいない」又は「あまり取り組んでいない」と回答した医療機関にお尋ねします。貴医療機関が医療従事者の勤務環境改善にあまり又は全く取り組んでいない理由を教えてください。(該当するもの全てに○)

1. 人員や時間に余裕がないため
2. 費用がかかるため
3. どのように取り組めばよいのかわからないため
4. これから取組を始める段階であるため
5. 現在の勤務環境が整っており、取り組む必要がないため
6. その他()
7. 特に理由はない

問 29. 以下に挙げる医療従事者の勤務環境改善に関する取組のうち、①貴医療機関で取り組んでいるもの、②そのうち効果が高いと評価できる取組を教えてください。(各項目で該当するもの全てにチェック)
 (下記の選択肢は、「医療分野の『雇用の質』向上のための勤務環境改善マネジメントシステム導入の手引き(改訂版)」(平成 27 年 3 月)に記載している、医療機関の勤務環境の現状把握及び課題抽出のための確認項目を参考に作成しています。)

I 働き方・休み方改善

(1) 労働時間管理

項目	取り組んでいる	効果が高いと評価できる
1. 時間外労働時間の削減に取り組んでいる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 1回当たりの最長勤務時間の削減に取り組んでいる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 年次有給休暇をはじめとする休暇の取得を促進している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. 夜勤負担の軽減(夜勤明けの早帰りの推進、夜勤者の配置人数の見直し、夜勤回数の制限、仮眠時間の確保等)を行っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. 夜勤専従者への配慮(夜勤の時間・回数の制限等)を行っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6. 夜勤・交代制勤務の勤務間隔を適切に管理している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7. 労働時間設定改善に関する労使間の話し合いの機会を設けている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8. 勤務間インターバル制度(※11)を導入している ⇒取り組んでいる場合は間30へ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※11: 前日の終業時刻と翌日の始業時刻の間に一定上の休息を確保する制度

(2) 勤務負担軽減

項目	取り組んでいる	効果が高いと評価できる
9. 補助職(医師事務作業補助者、看護補助者等)を配置している ⇒取り組んでいる場合は間30へ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10. 正職員について多様な勤務形態(短時間勤務、短日勤務、交代制勤務、フレックスタイム制など)を活用している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11. 当直(宿直・日直)明けの勤務者に対する配慮を行っている(連続当直を行わない、当直明けに日勤を入れない等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12. 夜勤、緊急時対応、オンコール対応等に対する給与・手当等の処遇を充実・改善している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13. チーム医療や多職種連携(業務分担・連携の強化等)により負担軽減を図っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14. 電子カルテを活用した業務効率化・省力化に取り組んでいる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
15. 勤務ソフト作成ソフトを活用した業務効率化・省力化に取り組んでいる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
16. その他の情報通信機器を活用した業務効率化・省力化を推進している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
17. 募集・採用を強化するための取組を実施している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
18. 地域の医療機関との連携(オープンシステム、地域連携クリティカルパス、外来機能の分担等)を推進している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

II 職員の健康支援

項目	取り組んでいる	効果が高いと評価できる
19.職員に健康診断を受診するよう働きかけている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
20.健康診断の事後措置(医療上の措置、就業上の措置、保健指導等)を実施している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
21.職員の健康教育や身体的健康対策(生活習慣病対策等)に取り組んでいる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
22.職員のメンタルヘルス教育研修を実施している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
23.「心の健康づくり計画」を策定し、組織的・計画的にメンタルヘルス対策の取組を行っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
24.長時間労働者に対する面接指導を実施している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
25.職業感染(結核・インフルエンザ等呼吸器感染、HBV/HCV/HIVの針刺し切創対策、ワクチン等)に取り組んでいる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
26.有害化学物質(抗がん剤、エチレンオキド、キシレン、ホルムアルデヒドの取扱い等)のばく露予防に取り組んでいる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
27.作業管理・作業環境対策(腰痛対策や眼精疲労対策等)に取り組んでいる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
28.衛生委員会を設置し、毎月1回以上開催している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
29.産業医を選任し、職員に周知している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
30.衛生管理者(常時使用する職員が10名以上50人未満の場合は衛生推進者)を選任し、職員に周知している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

III 働きやすさ確保のための環境整備

(1) 仕事と子育て・介護等の両立支援

項目	取り組んでいる	効果が高いと評価できる
31.男性職員に育児休業を取得するよう積極的に働きかけている ⇒取り組んでいる場合は問30へ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
32.法定以上の育児休業制度、子の看護休暇制度(男性職員・女性職員ともに対象)を導入している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
33.院内保育所や提携保育所等を整備している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
34.保育サービス(病児保育や夜間預かり保育等)を実施している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
35.院内や近隣に学童保育を整備している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
36.学童期の子どもを有する職員に対する支援制度を設けている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
37.本人の希望に応じて、子育て中の医師の当直を免除している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
38.介護短時間勤務制度を導入している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
39.法定以上の介護休業制度、介護休暇制度(男性職員・女性職員ともに対象)を導入している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
40.法定以上の子育て・介護中の職員に対する夜勤・時間外労働免除(男性職員・女性職員ともに対象)を実施している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
41.子育て・介護等を行っている職員が雇用形態や勤務形態を選択可能な制度(短時間正職員制度、フレックスタイム制度、裁量労働制等。男性職員・女性職員ともに対象)を整備している ⇒取り組んでいる場合は問30へ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(1) 仕事と子育て・介護等の両立支援(前ページの続き)

項目	取り組んでいる	効果が高いと評価できる
42. 保育・介護サービス利用料の補助制度(男性職員・女性職員ともに対象)を実施している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
43. 子育て・介護その他の事情により退職した職員に対する再雇用の制度を設けている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
44. 子育て・介護を含む生活面との両立支援・ワークライフバランスに関する相談窓口の設置や専門スタッフの配置を行っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
45. その他の子育て・介護との両立支援の制度・取組(男性職員・女性職員ともに対象)を実施している ⇒取り組んでいる場合は問30へ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(2) 職員のいじめ・ハラスメント等対策

項目	取り組んでいる	効果が高いと評価できる
46. 職員へのいじめ・ハラスメントや患者等からの暴言・暴力・クレームへの対応窓口を設置している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
47. 職員へのいじめ・ハラスメント対策や患者等からの暴言・暴力・クレームへの対策に関する研修や、当該研修への職員参加の支援を行っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(3) 風土・環境整備

項目	取り組んでいる	効果が高いと評価できる
48. 職員の働く満足度の調査を行っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
49. 職員向けに、院内に仮眠室や休憩室等を整備している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
50. 院内での職員のコミュニケーションの機会を設定・拡充している(職員旅行、イベント等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
51. 職員の地域活動への支援(ボランティア活動支援等)を実施している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(4) 人材の定着化

項目	取り組んでいる	効果が高いと評価できる
52. 定期的な面談等により職員が抱える事情や希望を把握し、可能な限りこれらを尊重した配置や業務面の配慮を行い、定着を図っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
53. 複数主治医制を採用している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

Ⅳ働き甲斐の向上

(1)キャリア形成支援

項目	取り組んでいる	効果が高いと評価できる
54.施設外の研修への参加を支援している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
55.学会への参加者に対し、勤務を免除する、通常勤務の時間を短くするなどの措置をとっている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
56.正規・非正規を問わずすべての職員のキャリア形成支援(研修等に関する情報提供や研修等への職員参加の支援、子育て等と両立しながらの勤務の継続に関する相談窓口の設置や情報提供等)が実施されている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
57.法人内での人事ローテーションが、キャリア形成支援の視点から適切に実施されている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
58.専門資格の取得を支援する制度を設けている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(2)休業後のキャリア形成支援

項目	取り組んでいる	効果が高いと評価できる
59.産休・育休復帰後のキャリア形成の支援(業務経験や研修等の機会の付与、産休・育休経験者による相談対応等)を行っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
60.復職者が利用できる短時間正職員制度や有期契約職員制度が導入されている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
61.産休・育休中の職員の円滑な復職の支援(e-learning、実技実習、託児所を併設した勉強会等)を行っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

Vその他

項目	取り組んでいる	効果が高いと評価できる
62.患者満足度の調査を行っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
63.子育て等により配慮を受ける職員とその他の職員の公平感に留意した適切な業務分担や処遇となっている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
64.定年退職者の再雇用に積極的に取り組んでいる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
65.医師に対し、医師賠償保険に加入するよう積極的に働きかけている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
66.その他(自由記載へ)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

66.その他の自由記載

問 30. 問 29 の項目 8,9,31,41,45 に取り組んでいる医療機関にお伺いします。

項目 8 の勤務間インターバル制度の導入に「取り組んでいる」と回答された医療機関にお尋ねします。
勤務時間インターバルは何時間ですか。(数字を記入)

()時間

項目 9 の補助職(医師事務作業補助者、看護補助者等)の配置に「取り組んでいる」回答された医療機関にお尋ねします。補助職の配置人数はそれぞれ何人ですか。(数字を記入)

医師事務作業補助者数 ()人

看護補助者数 ()人

項目 31 の男性職員に育児休業を取得するよう積極的な働きかけに「取り組んでいる」と回答された医療機関にお尋ねします。育児休業を取得した男性職員は何人ですか。(数字を記入)

()人

項目 41 の職員が子育て介護等を行っている職員が雇用形態や勤務形態を選択可能な制度を整備しているに「取り組んでいる」と回答された医療機関にお尋ねします。整備している制度は以下のどれに該当しますか。(該当するもの全てに○)

1. 短時間勤務
2. 短日勤務
3. 交代制勤務
4. フレックスタイム制
5. その他

項目 45 のその他の子育て・介護との両立支援に「取り組んでいる」と回答された方にお伺いします。具体的な取り組み内容について記載して下さい。(自由記載)

--

問 31. 問 29 で1つでも「効果が高い」と回答した医療機関にお尋ねします。問 29 で回答した勤務環境改善の取組の効果として、どのような経営上のメリットを感じていますか？(該当するもの全てに○)

1. 離職率が低下した
2. 人材が確保しやすくなった
3. 職員の時間外労働が減少した
4. 職員の満足度が向上した
5. 職員の休暇取得率が増加した
6. インシデントやアクシデントが減少した/医療安全が改善・向上した
7. 患者の満足度が向上した/患者のクレームが減少した
8. 治療結果が向上した/死亡率や再入院率が減少した
9. 患者の受入れ人数が増加した
10. 手術件数が増加した
11. 病床の稼働率が向上した
12. 診療報酬の加算の算定ができるようになった
13. 経営指標が改善した(具体的に記載:)
14. その他()
15. 経営上のメリットは感じていない

問 32. あなたは、「いきサポ(※12)」をご存じですか？(1つに○)

1. 知っており、閲覧したことがある ⇒問 32-1 へ
2. 知っているが、閲覧したことはない ⇒問 32-4 へ
3. この調査票で知った(今まで知らなかった) ⇒問 33 へ

※12:「いきサポ」とは、医療機関の管理者などを対象に、国や都道府県などによる施策や事業などの紹介、医療機関の取組事例の紹介など、医療従事者の勤務環境の改善に役立つ情報を提供するサイト「いきいき働く医療機関サポートWeb」(いきサポ)のことです。

問 32-1. 「いきサポ」をご覧になったご感想をお聞かせ下さい。(1つに○)

1. 非常に参考になる
2. 参考になる
3. あまり参考にならない
4. まったく参考にならない

問 32-2. 「いきサポ」で参考になるページ・情報を教えて下さい。(該当するもの全てに○)

1. 「検索ワードランキング」
2. 「『参考にされた』取組事例・提案」
3. 「取組事例・提案の紹介」
4. 「資料のダウンロード」
5. 「FAQ ～よくある問合せ～」
6. 「役に立つ情報」の「国の施策情報」
7. 「役に立つ情報」の「各種通知・審議会等」
8. 「役に立つ情報」の「関係団体による取組」
9. 「役に立つ情報」の「イベント開催案内および開催報告について」
10. 「役に立つ情報」の「各都道府県における取組」
11. 「役に立つ情報」の「各都道府県の医療勤務環境改善支援センター」
12. その他()

問 32-3. 「いきサポ」で充実してほしい情報があれば教えて下さい。(自由記載)

--

問 32-4. あなたは、「いきサポ」を何からお知りになりましたか？(該当するもの全てに○)

1. 都道府県庁又は医療勤務環境改善支援センターの紹介
2. 都道府県労働局からの紹介
3. 厚生労働省のホームページを見て
4. 医療関係の新聞・雑誌、ウェブサイト、メールマガジンなどを見て
5. 同僚・知人などからの口コミ
6. その他()

問 33. 「いきサポ」では、医療機関の勤務環境改善の取組を掲載して、勤務環境改善に取り組んでいることを広報することができます。貴院の取組で勤務環境改善の効果が高いものを「いきサポ」でご紹介してもよろしいでしょうか？(1つに○)

1. 紹介してもよい
2. 紹介することを検討したい
3. 紹介したくない

「紹介しても良い」又は「紹介することを検討したい」と回答された医療機関に対しては、本事業受託者(有限責任監査法人トーマツ)担当者より、「いきサポ」へのご出稿についてご連絡させていただく場合がございます。

下記に、貴医療機関名をご記入下さい。なお、いただいた情報については、「いきサポ」への出稿依頼以外には使用いたしません。

医療機関名: _____

問 34. あなたは、「医療勤務環境改善支援センター(※13)」について、ご存じですか？(1つに○)

1. すでに利用したことがある
2. 利用したことはないが、活動内容を知っている
3. 利用したことはなく、活動内容も知らないが、名前は聞いたことがある
4. 知らない

※13:「医療勤務環境改善支援センター」は、平成26年に改正された医療法の規定に基づき、医療従事者の勤務環境改善に向けた医療機関の取組を総合的・専門的に支援するための機関で、各都道府県に順次設置されています。

問 35. 今後の「医療勤務環境改善支援センター」の利用についての意向を教えてください。(1つに○)

1. 利用したい
2. 利用することを検討したい
3. 今のところ利用は考えていない

問 36. 問 35 について、そう考える理由を教えてください。(自由記載)

問 37. 医療従事者の勤務環境改善の更なる推進方策等の検討に資するため、本アンケートの医療機関ごとの回答内容を医療勤務環境改善支援センターへ提供する予定となっておりますが、提供不可の場合は右の口にチェックをつけて下さい。なお、回答内容については労働基準監督署が行う監督指導等に使用されることは一切ありません。

以上でアンケートは終了です。
ご協力ありがとうございました。

医師票

紙調査票で回答する場合のお願い

- ① **回答には必ず ID を記載して下さい。** ID は事務ご担当者様より配布される「アンケート回答手順(回答者用)」に記載しております。✓のある ID をご使用下さい。
- ② 回答にあたっては、該当する番号を○で囲むもの、具体的に記入するものがありますので、質問文に従ってご回答下さい。
- ③ 回答は直接調査票にご記入下さい。
- ④ ご記入が終わった調査票は、返信用封筒(切手は不要です)に入れ、**9月23日まで**に郵便ポストに投函して下さい。
※返信用封筒がお手元にはない場合には、事務ご担当者様にご確認下さい。

【問い合わせ先】

厚生労働省委託事業

「医療勤務環境改善マネジメントシステムに基づく医療機関の取組に対する支援の
充実を図るための調査・研究」事務局 有限責任監査法人トーマツ

email: Kansai_HC@tohmatu.co.jp

問い合わせ専用ダイヤル:070-1736-5365(平日 9:30~17:30) 担当:山本

回答 ID

問 1. あなたが主に勤務する病床機能を教えて下さい。(1つに○)

1. 高度急性期
2. 急性期
3. 回復期
4. 慢性期

問 2. あなたの年齢を教えて下さい。(1つに○)

1. 20代
2. 30代
3. 40代
4. 50代
5. 60代以上

問 3. あなたの性別を教えて下さい。(1つに○)

1. 女性
2. 男性
3. その他・答えたくない

問 4. あなたの臨床医としてのキャリア(通算経験年数)を教えて下さい。なお、休職をした場合は、その期間は含めず、回答して下さい。(1つに○)

1. 1年未満
2. 1年以上2年未満
3. 2年以上3年未満
4. 3年以上5年未満
5. 5年以上10年未満
6. 10年以上20年未満
7. 20年以上

問 5. 現医療機関における、あなたの勤務年数を教えて下さい。なお、休職をした場合は、その期間は含めず、回答して下さい。また、現医療機関を一度辞めている場合は、辞める前の勤務年数は含めずに回答して下さい。(数字を記入)

()年

問 6. あなたが主に専門としている診療科(最も時間を費やしている診療科)を教えてください。

(1つに○)

- | | | |
|-----------|---------------------|------------|
| 1. 内科 | 8. 精神科 | 14. 放射線科 |
| 2. 外科 | 9. 泌尿器科 | 15. 麻酔科 |
| 3. 皮膚科 | 10. 整形外科・リハビリテーション科 | 16. 病理診断科 |
| 4. アレルギー科 | 11. 眼科 | 17. 救急科 |
| 5. リウマチ科 | 12. 耳鼻いんこう科 | 18. 歯科 |
| 6. 小児科 | 13. 産科・婦人科・産婦人科 | 19. その他() |

問 7. 仕事について考えた際に、あなたの考え方に最も近いものを教えてください。

(各項目で該当するもの1つに○)

項目	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない
仕事でプライベートの時間が削られるのは極力避けたい	1	2	3	4	5
体調管理には極めて気を付けている	1	2	3	4	5
仕事をする上では人間関係が円滑であることが極めて重要である	1	2	3	4	5
仕事を通じて充実感や達成感を得ることが極めて重要である	1	2	3	4	5

問 8. 仕事について考えた際に、あなたの考え方に最も近いものを教えてください。(1つに○)

1. プライベートの充実を重視したい
2. 自身の健康を重視したい
3. 職場での円滑な人間関係を重視したい
4. 仕事を通じて得られる満足感・達成感を重視したい

あなたの勤務実態についてお伺いします

問 9. あなたは貴医療機関の就業規則等に記載されている時間外労働時間に関する規程をご存じですか？(1つに○)

1. 知っている
2. 知らない

問 10. あなたの平成 30 年 6 月の 1 か月間のおおよその時間外労働時間数(所定労働時間を超えて勤務した時間数。残業中の休憩時間など労働していない時間は除く)を教えてください。(数字を記入、していない場合には 0(ゼロ)を記入)

()時間()分

問 10-1. あなたの平成 30 年 6 月の 1 か月間のおおよその時間外労働時間数のうち、時間外労働と申請しなかったおおよその時間を教えてください。

(数字を記入、すべて申請している場合には 0(ゼロ)を記入)

()時間()分

問 10-2. あなたの平成 30 年 6 月の 1 か月間の時間外労働の主な理由を教えてください。(該当するもの全てに○)

1. 緊急対応
2. 手術や外来対応等の延長
3. 記録・報告書作成や書類の整理
4. 会議・勉強会・研修会等への参加
5. 他職種・他機関との連絡調整
6. 勤務開始前の準備
7. その他(具体的に:)

問 11. あなたは、普段、時間外労働時間を時間外労働時間どおり申告していますか。なお、時間外労働時間がタイムレコーダー・タイムカード・ICカードで管理されている場合は、2 を選択して下さい。(1つに○)

1. 時間外労働時間どおり申告していない ⇒問 11-1 へ
2. 時間外労働時間どおり申告している ⇒問 11-2 へ

問 11-1. あなたが、時間外労働時間を時間外労働時間どおり申告しない理由を教えてください。

(該当するもの全てに○)

1. 職場に残業を申告しづらい雰囲気があるから
2. 残業と認められない業務だから
3. 申告できる残業時間の上限が決められているから
4. 自分の都合や、自分のこだわりのために残業をしたから
5. 仕事が未熟でほかの人より時間がかかるから
6. 申告するのが面倒だから
7. 申告するのを忘れてしまうから
8. 申告方法を知らないから
9. 時間外労働時間が短かったから
10. 年俸制だから
11. その他()

問 11-2. あなたが申告した時間外労働時間に対し、時間外労働手当は支払われていますか？

(1つに○)

1. タイムレコーダー・タイムカード・ICカードの記録のとおり支払われている(制限なし)
2. 自己申告した時間どおり支払われている(制限なし)
3. 上限時間が決められており、それを上回る時間については支払われていない
4. 上司が時間外労働を認めた時以外は支払われていない
5. 年俸制であり時間外労働手当が含まれている
6. 時間外労働時間については支払われていない

問 12. 現状のあなたの労働時間に対する考えを教えてください。(1つに○)

1. 長い
2. やや長い
3. 適切である
4. やや短い
5. 短い

問 13. あなたの平成 30 年 6 月の①所定休日日数(※1)及び②実際に業務を休んだ日数を教えてください。(数字を記入)

① 所定休日日数 ()日

② 実際に休んだ日数 ()日

※1: 所定休日日数とは就業規則等で定めた休日のこと

問 14. あなたの平成 29 年度の①年次有給休暇の付与日数(※2)と②取得日数を教えて下さい。
(数字を記入、わからない場合は「わからない」に○)

- ① あなたに付与された年次有給休暇日数 ()日 わからない
- ② あなたが取得した年次有給休暇日数 ()日

※2: 年次有給休暇の付与日数は、1 年ごとに雇用主から新たに付与された有給休暇の日数のことで、前年度からの繰り越し分は含めない。

問 15. 平成 30 年 6 月の当直(①宿直・②日直)・③夜勤(※3)(交代制勤務の下で夜間に行った勤務)・④オンコールの当番回数を教えて下さい。①～④それぞれについては「0(ゼロ)」と回答して下さい。(数字を記入)

- ① 宿直()回 ⇒問 15-1、問 15-2 へ
- ② 日直()回
- ③ 夜勤()回
- ④ オンコール()回

※3: 夜勤とは法定労働時間内で夜間に勤務することを指しており、宿直(電話の対応や巡回、非常事態に備えての待機など、ほとんどの労働する必要のない勤務のこと)とは異なる。

(問 15 で平成 30 年 6 月に宿直を行った方にお伺いします。)

問 15-1. 貴医療機関で決められている①宿直 1 回あたりの平均拘束時間数と②平成 30 年 6 月の宿直 1 回あたりの平均実労働時間数(患者対応など通常勤務時と同様の業務を行った時間数)を教えて下さい。(数字を記入)

- ① 宿直平均拘束時間数 ()時間()分
- ② 宿直平均実労働時間数 ()時間()分

(問 15 で平成 30 年 6 月に宿直を行った方にお伺いします。)

問 15-2. 宿直明けの勤務について、どのような勤務割(※4)になっていますか。(1 つに○)

- 1. 通常勤務で、業務内容の軽減はない
- 2. 通常勤務であるが、業務内容は軽減される
- 3. 短時間勤務で、業務内容の軽減はない
- 4. 短時間勤務で、業務内容も軽減される
- 5. 勤務なし(休み)
- 6. その他()
- 7. 日によって異なる(具体的に:)
- 8. わからない

※4: 勤務割: シフト表上や勤務計画表上のこと

問 16. あなたの平成 30 年 6 月のある勤務日の勤務の開始から勤務の終了までの時間が最も長い時間(職場に最も長くいた時間)について伺います。①当直(宿直・日直)時間を含む、勤務割上の最長拘束時間と②その時の実際の労働時間数(休憩を除く、宿直・日直時における勤務時間を含む)を教えてください。(数字を記入)

- ① 当直(宿直・日直)時間を含む、勤務割上の最長拘束時間
 ()時間()分
- ② ①の実際の労働時間(休憩を除く、宿直・日直時における勤務時間を含む)
 ()時間()分

①最長拘束時間の例:33時間

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
1日目																								
2日目																								

1日目: 勤務(8-12), 休憩(12-13), 勤務(13-17), 宿直(17-23)

2日目: 宿直(0-8), 勤務(8-12), 休憩(12-13), 勤務(13-17), 33時間(17-23)

②①における実際の労働時間の例:27時間

(勤務時間に宿直で実際に休んだ時間と実際の休憩時間を除き、残業時間を加えた時間)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
1日目																								
2日目																								

1日目: 残業(7-8), 勤務(8-12), 休憩(12-13), 勤務(13-17), 残業(17-18), 宿直(18-23), 宿直中の勤務(18-23)

2日目: 宿直(0-2), 宿直中の勤務(2-6), 宿直(6-8), 勤務(8-12), 休憩(12-13), 勤務(13-17), 残業(17-18), 27時間(17-23)

問 17. あなたの平成 30 年 6 月の勤務日の中で勤務(時間外労働を含む。)の終了から次の勤務の開始までの間隔が最も短い時間について伺います。①平成 30 年 6 月の勤務割上の最短時間と②実際の最短時間を教えてください。(数字を記入)

- ① 勤務割上の最短時間 ()時間()分
- ② 実際の最短時間 ()時間()分

②実際の勤務の終了から開始までの最短時間の例:9時間

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
1日目																								
2日目																								

1日目: 勤務(8-17), 残業(17-23)

2日目: 9時間(0-9), 残業(9-10), 勤務(10-17)

問 17-1. あなたは、問 17 で回答したような短い間隔になることが、月にどのくらいありますか?
 (1つに○)

1. しばしばある
2. ときどきある
3. めったにない

問 18. あなたのこの 1 か月間の睡眠の状況について教えてください。(1 つに○)

1. 睡眠は十分にとれていた
2. 睡眠は比較的とれていた
3. どちらともいえない
4. 睡眠はあまりとれていなかった
5. 睡眠は不足していた

問 19. あなた自身の業務量が多いと感じますか？(1 つに○)

1. 多い
2. やや多い
3. どちらともいえない
4. やや少ない
5. 少ない

問 20. あなたの現在の健康状態について教えてください。(1 つに○)

1. 健康である
2. どちらかという健康である
3. どちらともいえない
4. どちらかという健康ではない
5. 健康ではない

問 21. 仕事と家庭の両立に関して教えてください。(1 つに○)

1. 両立できている
2. やや両立できている
3. どちらともいえない
4. あまり両立できていない
5. 両立できていない

問 22. 職員・患者等からのいじめやハラスメントに対して、貴医療機関の対応状況を教えてください。(1 つに○)

1. すぐに対応してくれる
2. 対応してくれる
3. どちらともいえない
4. 対応してくれるが遅い
5. 対応してくれない

問 23. 職員間のコミュニケーションの場はありますか？(1 つに○)

1. ある
2. ときどきある
3. どちらともいえない
4. あまりない
5. ない

問 24. 今後も今の職場で働き続けたいと思いますか？(1 つに○)

1. そう思う
2. ややそう思う
3. どちらともいえない
4. あまりそう思わない
5. そう思わない

問 25. この 1 年間の施設外への研修への参加回数を教えてください。(1 つに○)

1. 0 回
2. 1～3 回
3. 4,5 回
4. 6 回以上

問 26. 職場で達成感や充実感が得られることはありますか？(1 つに○)

1. ある
2. ときどきある
3. どちらともいえない
4. あまりない
5. ない

問 27. 職員のスキル向上のための支援制度(外部研修会への参加等)を利用したことがありますか？(1 つに○)

1. 年に 5 回以上
2. 年に 3 回程度
3. 年に 1 回程度
4. 2,3 年に 1 回程度
5. ここ数年ない

あなたの勤務環境の満足度についてお伺いします

問 28. あなたは現在の勤務環境で以下の点についてどの程度満足していますか。あなたの満足度について最も近いものを教えて下さい。(該当する項目を1つに○)

項目	満足	い ど ち ら か と 満 足	い ど ち ら か と 満 足 と い え な い	い ど ち ら か と 不 満	不 満
勤務環境全体全般に関して	1	2	3	4	5
働き方・休み方全般に関して	1	2	3	4	5
労働時間に関して	1	2	3	4	5
休暇の取得に関して	1	2	3	4	5
勤務負担軽減に関して	1	2	3	4	5
職員の健康支援に関して	1	2	3	4	5
働きやすさ全般に関して	1	2	3	4	5
仕事と家庭の両立に関して	1	2	3	4	5
職場の雰囲気に関して	1	2	3	4	5
働き甲斐全般に関して	1	2	3	4	5
自身の能力開発に向けた院内の制度に関して	1	2	3	4	5
仕事の充実感・達成感に関して	1	2	3	4	5

問 28-1. 問 28 の勤務環境全体の満足度について、あなたがそう思う理由を教えてください。
(自由記載)

職場環境改善に向けた取組状況についてお伺いします

問 29. 以下に挙げる医療従事者の勤務環境改善に関する取り組みのうち、①貴医療機関で取り組んでおり、②そのうちあなたが改善の効果を感じている項目を教えてください。

(該当する項目にチェック)

I. 働き方・休み方改善

(1) 労働時間管理

項目	取り組んでいる	効果を実感できる
1. 時間外労働時間の削減に取り組んでいる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 1回当たりの最長勤務時間の削減に取り組んでいる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 年次有給休暇をはじめとする休暇の取得を促進している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. 夜勤負担の軽減(夜勤明けの早帰りの推進、夜勤者の配置人数の見直し、夜勤回数の制限、仮眠時間の確保等)を行っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. 夜勤専従者への配慮(夜勤の時間・回数の制限等)を行っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6. 夜勤・交代制勤務の勤務間隔を適切に管理している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7. 労働時間設定改善に関する労使間の話し合いの機会を設けている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8. 勤務間インターバル制度(※5)を導入している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※5: 前日の終業時刻と翌日の始業時刻の間に一定上の休息を確保する制度

(2) 勤務負担軽減

項目	取り組んでいる	効果を実感できる
9. 補助職(医師事務作業補助者、看護補助者等)を配置している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10. 正職員について多様な勤務形態(短時間勤務、短日勤務、交代制勤務、フレックスタイム制など)を活用している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11. 当直(宿直・日直)明けの勤務者に対する配慮を行っている(連続当直を行わない、当直明けに日勤を入れない等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12. 夜勤、緊急時対応、オンコール対応等に対する給与・手当等の処遇を充実・改善している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13. チーム医療や多職種連携(業務分担・連携の強化等)により負担軽減を図っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14. 電子カルテを活用した業務効率化・省力化に取り組んでいる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
15. 勤務ソフト作成ソフトを活用した業務効率化・省力化に取り組んでいる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
16. その他の情報通信機器を活用した業務効率化・省力化を推進している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
17. 募集・採用を強化するための取組を実施している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
18. 地域の医療機関との連携(オープンシステム、地域連携クリティカルパス、外来機能の分担等)を推進している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

II. 職員の健康支援

項目	取り組んでいる	効果を実感できる
19.職員に健康診断を受診するよう働きかけている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
20.健康診断の事後措置(医療上の措置、就業上の措置、保健指導等)を実施している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
21.職員の健康教育や身体的健康対策(生活習慣病対策等)に取り組んでいる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
22.職員のメンタルヘルス教育研修を実施している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
23.「心の健康づくり計画」を策定し、組織的・計画的にメンタルヘルス対策の取組を行っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
24.長時間労働者に対する面接指導を実施している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
25.職業感染(結核・インフルエンザ等呼吸器感染、HBV/HCV/HIVの針刺し切創対策、ワクチン等)に取り組んでいる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
26.有害化学物質(抗がん剤、エチレンオキシド、キシレン、ホルムアルデヒドの取扱い等)のばく露予防に取り組んでいる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
27.作業管理・作業環境対策(腰痛対策や眼精疲労対策等)に取り組んでいる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
28.衛生委員会を設置し、毎月1回以上開催している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
29.産業医を選任し、職員に周知している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
30.衛生管理者(常時使用する職員が10名以上50人未満の場合は衛生推進者)を選任し、職員に周知している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

III 働きやすさ確保のための環境整備

(1) 仕事と子育て・介護等の両立支援

項目	取り組んでいる	効果を実感できる
31.男性職員に育児休業を取得するよう積極的に働きかけている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
32.法定以上の育児休業制度、子の看護休暇制度(男性職員・女性職員ともに対象)を導入している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
33.院内保育所や提携保育所等を整備している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
34.保育サービス(病児保育や夜間預かり保育等)を実施している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
35.院内や近隣に学童保育を整備している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
36.学童期の子どもを有する職員に対する支援制度を設けている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
37.本人の希望に応じて、子育て中の医師の当直を免除している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
38.介護短時間勤務制度を導入している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
39.法定以上の介護休業制度、介護休暇制度(男性職員・女性職員ともに対象)を導入している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
40.法定以上の子育て・介護中の職員に対する夜勤・時間外労働免除(男性職員・女性職員ともに対象)を実施している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
41.子育て・介護等を行っている職員が雇用形態や勤務形態を選択可能な制度(短時間正職員制度、フレックスタイム制度、裁量労働制等。男性職員・女性職員ともに対象)を整備している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(1) 仕事と子育て・介護等の両立支援(前ページの続き)

項目	取り組んでいる	効果を実感できる
42.保育・介護サービス利用料の補助制度(男性職員・女性職員ともに対象)を実施している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
43.子育て・介護その他の事情により退職した職員に対する再雇用の制度を設けている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
44.子育て・介護を含む生活面との両立支援・ワークライフバランスに関する相談窓口の設置や専門スタッフの配置を行っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
45.その他の子育て・介護との両立支援の制度・取組(男性職員・女性職員ともに対象)を実施している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(2) 職員のいじめ・ハラスメント等対策

項目	取り組んでいる	効果を実感できる
46.職員へのいじめ・ハラスメントや患者等からの暴言・暴力・クレームへの対応窓口を設置している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
47.職員へのいじめ・ハラスメント対策や患者等からの暴言・暴力・クレームへの対策に関する研修や、当該研修への職員参加の支援を行っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(3) 風土・環境整備

項目	取り組んでいる	効果を実感できる
48.職員の働く満足度の調査を行っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
49.職員向けに、院内に仮眠室や休憩室等を整備している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
50.院内での職員のコミュニケーションの機会を設定・拡充している(職員旅行、イベント等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
51.職員の地域活動への支援(ボランティア活動支援等)を実施している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(4) 人材の定着化

項目	取り組んでいる	効果を実感できる
52.定期的な面談等により職員が抱える事情や希望を把握し、可能な限りこれらを尊重した配置や業務面の配慮を行い、定着を図っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
53.複数主治医制を採用している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

IV. 働き甲斐の向上

(1) キャリア形成支援

項目	取り組んでいる	効果を実感できる
54.施設外の研修への参加を支援している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
55.学会への参加者に対し、勤務を免除する、通常勤務の時間を短くするなどの措置をとっている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
56.正規・非正規を問わずすべての職員のキャリア形成支援(研修等に関する情報提供や研修等への職員参加の支援、子育て等と両立しながらの勤務の継続に関する相談窓口の設置や情報提供等)が実施されている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
57.法人内での人事ローテーションが、キャリア形成支援の視点から適切に実施されている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
58.専門資格の取得を支援する制度を設けている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(2) 休業後のキャリア形成支援

項目	取り組んでいる	効果を実感できる
59.産休・育休復帰後のキャリア形成の支援(業務経験や研修等の機会の付与、産休・育休経験者による相談対応等)を行っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
60.復職者が利用できる短時間正職員制度や有期契約職員制度が導入されている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
61.産休・育休中の職員の円滑な復職の支援(e-learning、実技実習、託児所を併設した勉強会等)を行っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

V. その他

項目	取り組んでいる	効果を実感できる
62.患者満足度の調査を行っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
63.子育て等により配慮を受ける職員とその他の職員の公平感に留意した適切な業務分担や処遇となっている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
64.定年退職者の再雇用に積極的に取り組んでいる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
65.医師に対し、医師賠償保険に加入するよう積極的に働きかけている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
66.その他(自由記載へ)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

66.その他の自由記載

--

以上でアンケートは終了です。
ご協力ありがとうございました。

看護職票

紙調査票で回答する場合のお願い

- ① **回答には必ず ID を記載して下さい。** ID は事務ご担当者様より配布される「アンケート回答手順(回答者用)」に記載しております。✓のある ID をご使用下さい。
- ② 回答にあたっては、該当する番号を○で囲むもの、具体的に記入するものがありますので、質問文に従ってご回答下さい。
- ③ 回答は直接調査票にご記入下さい。
- ④ ご記入が終わった調査票は、返信用封筒(切手は不要です)に入れ、**9月23日まで**に郵便ポストに投函して下さい。
※返信用封筒がお手元にはない場合には、事務ご担当者様にご確認下さい。

【問い合わせ先】

厚生労働省委託事業

「医療勤務環境改善マネジメントシステムに基づく医療機関の取組に対する支援の
充実を図るための調査・研究」事務局 有限責任監査法人トーマツ

email: Kansai_HC@tohmatu.co.jp

問い合わせ専用ダイヤル:070-1736-5365(平日 9:30~17:30) 担当:山本

回答 ID

問 1. あなたが主に勤務する病床機能を教えて下さい。(1 つに○)

1. 高度急性期
2. 急性期
3. 回復期
4. 慢性期

問 2. あなたの年齢を教えてください。(1 つに○)

1. 20 代
2. 30 代
3. 40 代
4. 50 代
5. 60 代以上

問 3. あなたの性別を教えてください。(1 つに○)

1. 女性
2. 男性
3. その他・答えたくない

問 4. あなた自身の主な勤務形態を教えてください。(1 つに○)

1. 3 交代制(変則含む)(※1)
2. 2 交代制(変則含む)(※1)
3. 夜勤専従
4. 夜勤シフトに入っていない
5. それ以外()
6. わからない

※1:交代制勤務には、24 時間を 2 つのシフトに分ける「2 交代制」や「3 交代制」がある。各シフトの長さがほぼ均一のタイプのほか、変則的なタイプ(夜勤時間 9～10 時間の変則 3 交代制、夜勤時間 13～16 時間の変則 2 交代制など)がある。

問 5. あなたの看護職としてのキャリア(通算経験年数)を教えてください。なお、休職をした場合は、その期間は含めず、回答して下さい。(1つに○)

- | | |
|-------------|---------------|
| 1. 1年未満 | 5. 5年以上10年未満 |
| 2. 1年以上2年未満 | 6. 10年以上20年未満 |
| 3. 2年以上3年未満 | 7. 20年以上 |
| 4. 3年以上5年未満 | |

問 6. 現医療機関における、あなたの勤務年数を教えてください。なお、休職をした場合は、その期間は含めず、回答して下さい。また、現医療機関を一度辞めている場合は、辞める前の勤務年数は含めずに回答して下さい。(数字を記入)

()年

問 7. 仕事について考えた際に、あなたの考え方に最も近いものを教えてください。(各項目で該当するもの1つに○)

項目	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない
仕事でプライベートの時間が削られるのは極力避けたい	1	2	3	4	5
体調管理には極めて気を付けている	1	2	3	4	5
仕事をする上では人間関係が円滑であることが極めて重要である	1	2	3	4	5
仕事を通じて充実感や達成感を得ることが極めて重要である	1	2	3	4	5

問 8. 仕事について考えた際に、あなたの考え方に最も近いものを教えてください。(1つに○)

1. プライベートの充実を重視したい
2. 自身の健康を重視したい
3. 職場での円滑な人間関係を重視したい
4. 仕事を通じて得られる満足感・達成感を重視したい

あなたの勤務実態についてお伺いします

問 9. あなたは貴医療機関の就業規則等に記載されている時間外労働時間に関する規程をご存じですか？(1つに○)

1. 知っている
2. 知らない

問 10. あなたの平成 30 年 6 月の 1 か月間のおおよその時間外労働時間数(所定労働時間を超えて勤務した時間数。残業中の休憩時間など労働していない時間は除く)を教えてください。(数字を記入、していない場合には0(ゼロ)を記入)

()時間()分

問 10-1. あなたの平成 30 年 6 月の 1 か月間のおおよその時間外労働時間数のうち、時間外労働と申請しなかったおおよその時間を教えてください。

(数字を記入、すべて申請している場合には0(ゼロ)を記入)

()時間()分

問 10-2. あなたの平成 30 年 6 月の 1 か月間の時間外労働の主な理由を教えてください。(該当するもの全てに○)

1. 緊急対応
2. 手術や外来対応等の延長
3. 記録・報告書作成や書類の整理
4. 会議・勉強会・研修会等への参加
5. 他職種・他機関との連絡調整
6. 勤務開始前の準備
7. その他(具体的に:)

問 11. あなたは、普段、時間外労働時間を時間外労働時間どおり申告していますか。なお、時間外労働時間がタイムレコーダー・タイムカード・ICカードで管理されている場合は、2 を選択して下さい。(1つに○)

1. 時間外労働時間どおり申告していない ⇒問 11-1 へ
2. 時間外労働時間どおり申告している ⇒問 11-2 へ

問 11-1. あなたが、時間外労働時間を時間外労働時間どおり申告しない理由を教えてください。

(該当するもの全てに○)

1. 職場に残業を申告しづらい雰囲気があるから
2. 残業と認められない業務だから
3. 申告できる残業時間の上限が決められているから
4. 自分の都合や、自分のこだわりのために残業をしたから
5. 仕事が未熟でほかの人より時間がかかるから
6. 申告するのが面倒だから
7. 申告するのを忘れてしまうから
8. 申告方法を知らないから
9. 時間外労働時間が短かったから
10. 年俸制だから
11. その他()

問 11-2. あなたが申告した時間外労働時間に対し、時間外労働手当は支払われていますか？

(1つに○)

1. タイムレコーダー・タイムカード・ICカードの記録のとおり支払われている(制限なし)
2. 自己申告した時間どおり支払われている(制限なし)
3. 上限時間が決められており、それを上回る時間については支払われていない
4. 上司が時間外労働を認めた時以外は支払われていない
5. 年俸制であり時間外労働手当が含まれている
6. 時間外労働時間については支払われていない

問 12. 現状のあなたの労働時間に対する考えを教えてください。(1つに○)

1. 長い
2. やや長い
3. 適切である
4. やや短い
5. 短い

問 13. あなたの平成 30 年 6 月の①所定休日日数(※2)及び②実際に業務を休んだ日数を教えてください。(数字を記入)

① 所定休日日数 ()日

② 実際に休んだ日数 ()日

※2: 所定休日日数とは就業規則等で定めた休日のこと

問 14. あなたの平成 29 年度の①年次有給休暇の付与日数(※3)と②取得日数を教えて下さい。
(数字を記入、わからない場合は「わからない」に○)

- ① あなたに付与された年次有給休暇日数 ()日 わからない
- ② あなたが取得した年次有給休暇日数 ()日

※3: 年次有給休暇の付与日数は、1 年ごとに雇用主から新たに付与された有給休暇の日数のことで、前年度からの繰越分を含めない。

問 15. 平成 30 年 6 月の①夜勤(※4)、②オンコールの当番回数を教えて下さい。なお、平成 30 年 6 月の途中の夜勤専従期間が開始または終了した方は、夜勤専従期間以外の回数を入力して下さい。(数字を記入)

- ① 夜勤 ()回
- ② オンコール ()回

※4: 夜勤とは法定労働時間内で夜間に勤務することを指しており、宿直(電話の対応や巡回、非常事態に備えての待機など、ほとんどの労働する必要のない勤務のこと)とは異なる。

問15-1. あなたの平成 30 年 6 月の夜勤勤務について伺います。

①平成 30 年 6 月の1か月間のおおよその総夜勤時間数、及び、問 15 で回答した主な勤務形態における夜勤の②勤務割上(※5)の 1 回あたりの平均夜勤時間数と③実際の 1 回あたりの平均夜勤時間数(夜勤を行った際の時間外労働時間を含む)を教えて下さい。(数字を記入)

- ① 1 カ月間のおおよその総夜勤時間数 ()時間()分
- ② 総勤務割り上 1 回の平均夜勤時間数 ()時間()分
- ③ 実際の 1 回の平均夜勤時間数 ()時間()分

※5: 勤務割: シフト表上や勤務計画表上のこと

問 16. あなたの平成 30 年 6 月のある勤務日における勤務の開始から勤務の終了までの時間が最も長い時間(職場に最も長いた時間)について伺います。①勤務割上の最長拘束時間と②その時の実際の労働時間数(休憩を除く、宿直・日直時における勤務時間を含む)を教えてください。(数字を記入)

- ① 勤務割上の最長拘束時間
 ()時間()分
- ② ①の実際の労働時間(休憩を除く)
 ()時間()分

①勤務割上の最長拘束時間の例:16時間



②最長実働の例:17時間(勤務時間の休憩時間を除き、残業を加えた時間)



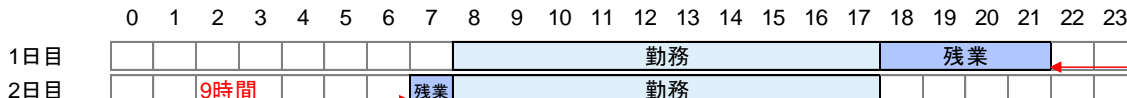
問 17. あなたの平成 30 年 6 月の勤務日の中で勤務(時間外労働を含む。)の終了から次の勤務の開始までの間隔が最も短い時間について伺います。

平成 30 年 6 月の

- ① 勤務割上の最短時間
 ② 実際の最短時間
- を教えてください。(数字を記入)

- ① 勤務割上の最短時間 ()時間()分
- ② 実際の最短時間 ()時間()分

②実際の勤務の終了から開始までの最短時間の例:9時間



問 17-1. あなたは、問17で回答したような短い間隔になることが、月にどのくらいありますか？(1つに○)

- しばしばある
- ときどきある
- めったにない

問 18. あなたのこの 1 か月間の睡眠の状況について教えてください。(1 つに○)

1. 睡眠は十分にとれていた
2. 睡眠は比較的とれていた
3. どちらともいえない
4. 睡眠はあまりとれていなかった
5. 睡眠は不足していた

問 19. あなた自身の業務量が多いと感じますか？(1 つに○)

1. 多い
2. やや多い
3. どちらともいえない
4. やや少ない
5. 少ない

問 20. あなたの現在の健康状態について教えてください。(1 つに○)

1. 健康である
2. どちらかという健康である
3. どちらともいえない
4. どちらかという健康ではない
5. 健康ではない

問 21. 仕事と家庭の両立に関して教えてください。(1 つに○)

1. 両立できている
2. やや両立できている
3. どちらともいえない
4. あまり両立できていない
5. 両立できていない

問 22. 職員・患者等からのいじめやハラスメントに対して、貴医療機関の対応状況を教えてください。(1 つに○)

1. すぐに対応してくれる
2. 対応してくれる
3. どちらともいえない
4. 対応してくれるが遅い
5. 対応してくれない

問 23. 職員間のコミュニケーションの場はありますか？(1 つに○)

1. ある
2. ときどきある
3. どちらともいえない
4. あまりない
5. ない

問 24. 今後も今の職場で働き続けたいと思いますか？(1 つに○)

1. そう思う
2. ややそう思う
3. どちらともいえない
4. あまりそう思わない
5. そう思わない

問 25. この 1 年間の施設外への研修への参加回数を教えてください。(1 つに○)

1. 0 回
2. 1～3 回
3. 4,5 回
4. 6 回以上

問 26. 職場で達成感や充実感が得られることはありますか？(1 つに○)

1. ある
2. ときどきある
3. どちらともいえない
4. あまりない
5. ない

問 27. 職員のスキル向上のための支援制度(外部研修会への参加等)を利用したことがありますか？(1 つに○)

1. 年に 5 回以上
2. 年に 3 回程度
3. 年に 1 回程度
4. 2,3 年に 1 回程度
5. ここ数年ない

あなたの勤務環境の満足度についてお伺いします

問 28. あなたは現在の勤務環境で以下の点についてどの程度満足していますか。あなたの満足度について最も近いものを教えて下さい。(各項目で該当するもの1つに○)

項目	満足	い ど ち ら か と 満 足	い ど ち ら か と い え な い	い ど ち ら か と 不 満	不 満
勤務環境全体全般に関して	1	2	3	4	5
働き方・休み方全般に関して	1	2	3	4	5
労働時間に関して	1	2	3	4	5
休暇の取得に関して	1	2	3	4	5
勤務負担軽減に関して	1	2	3	4	5
職員の健康支援に関して	1	2	3	4	5
働きやすさ全般に関して	1	2	3	4	5
仕事と家庭の両立に関して	1	2	3	4	5
職場の雰囲気に関して	1	2	3	4	5
働き甲斐全般に関して	1	2	3	4	5
自身の能力開発に向けた院内の制度に関して	1	2	3	4	5
仕事の充実感・達成感に関して	1	2	3	4	5

問 28-1. 問 28 の勤務環境全体の満足度について、あなたがそう思う理由を教えてください。
(自由記載)

職場環境改善に向けた取組状況についてお伺いします

問 29. 以下に挙げる医療従事者の勤務環境改善に関する取り組みのうち、①貴医療機関で取り組んでおり、②そのうちあなたが改善の効果を感じている項目を教えてください。

(該当する項目全てにチェック)

I. 働き方・休み方改善

(1) 労働時間管理

項目	取り組んでいる	効果を実感できる
1. 時間外労働時間の削減に取り組んでいる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 1回当たりの最長勤務時間の削減に取り組んでいる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 年次有給休暇をはじめとする休暇の取得を促進している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. 夜勤負担の軽減(夜勤明けの早帰りの推進、夜勤者の配置人数の見直し、夜勤回数の制限、仮眠時間の確保等)を行っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. 夜勤専従者への配慮(夜勤の時間・回数の制限等)を行っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6. 夜勤・交代制勤務の勤務間隔を適切に管理している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7. 労働時間設定改善に関する労使間の話し合いの機会を設けている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8. 勤務間インターバル制度(※6)を導入している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※6: 前日の終業時刻と翌日の始業時刻の間に一定上の休息を確保する制度

(2) 勤務負担軽減

項目	取り組んでいる	効果を実感できる
9. 補助職(医師事務作業補助者、看護補助者等)を配置している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10. 正職員について多様な勤務形態(短時間勤務、短日勤務、交代制勤務、フレックスタイム制など)を活用している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11. 当直(宿直・日直)明けの勤務者に対する配慮を行っている(連続当直を行わない、当直明けに日勤を入れない等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12. 夜勤、緊急時対応、オンコール対応等に対する給与・手当等の処遇を充実・改善している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13. チーム医療や多職種連携(業務分担・連携の強化等)により負担軽減を図っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14. 電子カルテを活用した業務効率化・省力化に取り組んでいる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
15. 勤務ソフト作成ソフトを活用した業務効率化・省力化に取り組んでいる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
16. その他の情報通信機器を活用した業務効率化・省力化を推進している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
17. 募集・採用を強化するための取組を実施している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
18. 地域の医療機関との連携(オープンシステム、地域連携クリティカルパス、外来機能の分担等)を推進している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

II. 職員の健康支援

項目	取り組んでいる	効果を実感できる
19.職員に健康診断を受診するよう働きかけている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
20.健康診断の事後措置(医療上の措置、就業上の措置、保健指導等)を実施している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
21.職員の健康教育や身体的健康対策(生活習慣病対策等)に取り組んでいる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
22.職員のメンタルヘルス教育研修を実施している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
23.「心の健康づくり計画」を策定し、組織的・計画的にメンタルヘルス対策の取組を行っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
24.長時間労働者に対する面接指導を実施している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
25.職業感染(結核・インフルエンザ等呼吸器感染、HBV/HCV/HIVの針刺し切創対策、ワクチン等)に取り組んでいる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
26.有害化学物質(抗がん剤、エチレンオキシド、キシレン、ホルムアルデヒドの取扱い等)のばく露予防に取り組んでいる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
27.作業管理・作業環境対策(腰痛対策や眼精疲労対策等)に取り組んでいる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
28.衛生委員会を設置し、毎月1回以上開催している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
29.産業医を選任し、職員に周知している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
30.衛生管理者(常時使用する職員が10名以上50人未満の場合は衛生推進者)を選任し、職員に周知している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

III 働きやすさ確保のための環境整備

(1) 仕事と子育て・介護等の両立支援

項目	取り組んでいる	効果を実感できる
31.男性職員に育児休業を取得するよう積極的に働きかけている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
32.法定以上の育児休業制度、子の看護休暇制度(男性職員・女性職員ともに対象)を導入している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
33.院内保育所や提携保育所等を整備している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
34.保育サービス(病児保育や夜間預かり保育等)を実施している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
35.院内や近隣に学童保育を整備している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
36.学童期の子どもを有する職員に対する支援制度を設けている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
37.本人の希望に応じて、子育て中の医師の当直を免除している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
38.介護短時間勤務制度を導入している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
39.法定以上の介護休業制度、介護休暇制度(男性職員・女性職員ともに対象)を導入している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
40.法定以上の子育て・介護中の職員に対する夜勤・時間外労働免除(男性職員・女性職員ともに対象)を実施している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
41.子育て・介護等を行っている職員が雇用形態や勤務形態を選択可能な制度(短時間正職員制度、フレックスタイム制度、裁量労働制等。男性職員・女性職員ともに対象)を整備している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(1)仕事と子育て・介護等の両立支援(前ページの続き)

項目	取り組んでいる	効果を実感できる
42.保育・介護サービス利用料の補助制度(男性職員・女性職員ともに対象)を実施している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
43.子育て・介護その他の事情により退職した職員に対する再雇用の制度を設けている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
44.子育て・介護を含む生活面との両立支援・ワークライフバランスに関する相談窓口の設置や専門スタッフの配置を行っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
45.その他の子育て・介護との両立支援の制度・取組(男性職員・女性職員ともに対象)を実施している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(2)職員のいじめ・ハラスメント等対策

項目	取り組んでいる	効果を実感できる
46.職員へのいじめ・ハラスメントや患者等からの暴言・暴力・クレームへの対応窓口を設置している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
47.職員へのいじめ・ハラスメント対策や患者等からの暴言・暴力・クレームへの対策に関する研修や、当該研修への職員参加の支援を行っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(3)風土・環境整備

項目	取り組んでいる	効果を実感できる
48.職員の働く満足度の調査を行っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
49.職員向けに、院内に仮眠室や休憩室等を整備している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
50.院内での職員のコミュニケーションの機会を設定・拡充している(職員旅行、イベント等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
51.職員の地域活動への支援(ボランティア活動支援等)を実施している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(4)人材の定着化

項目	取り組んでいる	効果を実感できる
52.定期的な面談等により職員が抱える事情や希望を把握し、可能な限りこれらを尊重した配置や業務面の配慮を行い、定着を図っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
53.複数主治医制を採用している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

IV. 働き甲斐の向上

(1) キャリア形成支援

項目	取り組んでいる	効果を実感できる
54.施設外の研修への参加を支援している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
55.学会への参加者に対し、勤務を免除する、通常勤務の時間を短くするなどの措置をとっている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
56.正規・非正規を問わずすべての職員のキャリア形成支援(研修等に関する情報提供や研修等への職員参加の支援、子育て等と両立しながらの勤務の継続に関する相談窓口の設置や情報提供等)が実施されている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
57.法人内での人事ローテーションが、キャリア形成支援の視点から適切に実施されている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
58.専門資格の取得を支援する制度を設けている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(2) 休業後のキャリア形成支援

項目	取り組んでいる	効果を実感できる
59.産休・育休復帰後のキャリア形成の支援(業務経験や研修等の機会の付与、産休・育休経験者による相談対応等)を行っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
60.復職者が利用できる短時間正職員制度や有期契約職員制度が導入されている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
61.産休・育休中の職員の円滑な復職の支援(e-learning、実技実習、託児所を併設した勉強会等)を行っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

V. その他

項目	取り組んでいる	効果を実感できる
62.患者満足度の調査を行っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
63.子育て等により配慮を受ける職員とその他の職員の公平感に留意した適切な業務分担や処遇となっている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
64.定年退職者の再雇用に積極的に取り組んでいる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
65.医師に対し、医師賠償保険に加入するよう積極的に働きかけている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
66.その他(自由記載へ)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

66.その他の自由記載

--

以上でアンケートは終了です。
ご協力ありがとうございました。